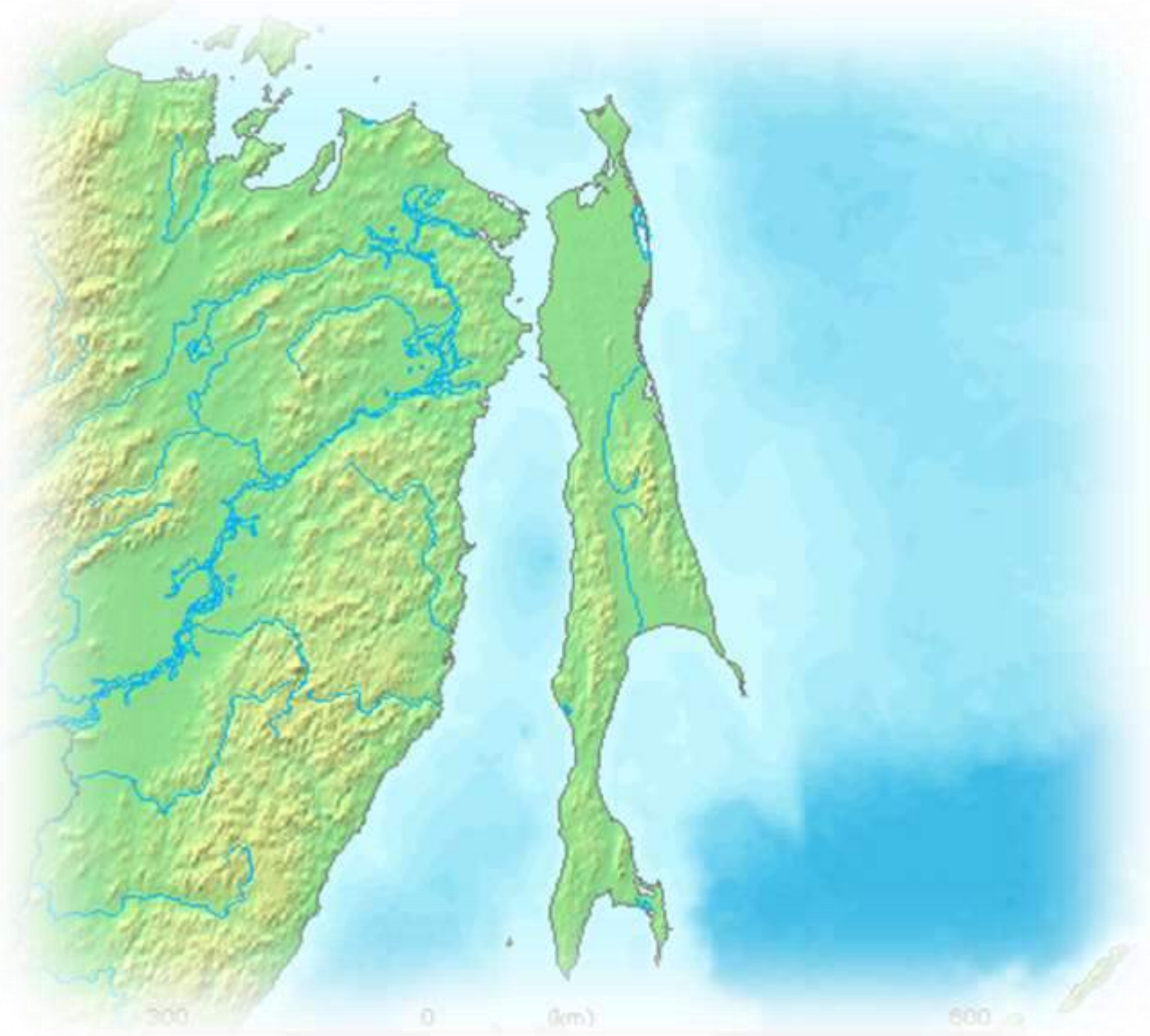


# サハリン州の概要～2019年版～



令和元年 7月

北海道サハリン事務所

E-mail : hokkaido@snc.ru

# 目次

I. サハリン州の概要	
概要	1
サハリン州政府機構図	2
【参考】ロシア主要閣僚等	3
【参考】サハリン州の人口	5
サハリン 知られざる観光資源～サハリン島南部編	7
II. 経済	
①平均賃金推移	8
②サハリン州当初予算額の推移	9
③産業の概要	
(1) 産業別就業者数、(2) 社会主要項目の動向、(3) 業種別企業取引高	10
(4) 産業別生産量等	11
(5) 消費市場	14
(6) 建設市場、(7) 貨物輸送市場	15
④貿易の概要	
(1) 品目別貿易概況	16
(2) 北海道とロシア連邦の貿易実績	18
⑤エネルギー関連	
(1) サハリンプロジェクト	20
(2) サハリン 1, 2 に関する日本企業の主な動向	22
(3) エネルギー関連の動き	23
III. 北海道とサハリン州	
①北海道とサハリン州の交流	24
②北海道・サハリン州友好・経済協力提携 20 周年記念事業一覧	25
③北海道・サハリン州の友好交流	
(1) 道・道内市町村との姉妹友好提携	27
(2) 民間・友好交流団体の友好交流	28
IV. 北海道サハリン事務所の概要	29

# I. サハリン州の概要

概況	面積	8.7万km <sup>2</sup> 北海道8.3万km <sup>2</sup> （うち北方領土5千km <sup>2</sup> ）
	人口	49.0万人（2019年1月1日時点）（1992年ピーク時74万人）（北海道526万人）
	人口密度	5.6人/km <sup>2</sup> （北海道 63.4人/km <sup>2</sup> ）
	行政府所在地	ユジノサハリンスク市（人口20.8万人）（札幌市 194万人）
	地方自治体	18行政区（15市 5都市型集落）
州政治・連邦政治	民族構成	ロシア人82.3% 朝鮮人5.0% ウクライナ人2.4% タタール人1.0% ベラルーシ人0.6% ニブフ人0.4% 他、少数民族も複数（2010年）
	知事（代行）	リマレンコ V.I. LIMARENKO, Valery Igorevich（2018年12月～）
	州議会議席数	28議席[選挙区（14選挙区×定数1）比例代表（定数14）]
	議長	ハポチキン A.A. HAPOCHIKIN, Andrey Alekceivich
	ユジノサハリンスク市長	ナドサディン S.A. NADSADIN, Sergei Aleksandrovich
	極東連邦管区大統領全権代表	トルトネフ Y.P. TRUTNEV, Yurii Petrovich
	連邦院（上院）議員 サハリン州選出	アルハロフ Y.V. ARKHAROV, Yuri Viktorovich
	国家院（下院）議員 サハリン州選出	カルロフ G.A. KARLOF, Georgy Aleksandrovich
州財政	財政予算（一般） （2019年当初予算）	歳入：1,674億9,211万ルーブル（約3,015億円） 歳出：1,762億 570万ルーブル（約3,172億円）※道当初予算：2兆6,966億円
	歳入に占める連邦からの移転資金の比率	11.4%（2019年当初予算）（前年 11.7%）※参考 2012年サハリン州 14.0% 2019年ハバロフスク地方 25.6% 道2019当初予算 地方交付税19.4%+国庫支出金12.5%=31.9%
州経済	州内総生産額（GRP） （2017年）	7,712億2,420万ルーブル（約1兆3,882億円）（対前年 103.0%） ※ロシア国内総生産（GDP）92兆370億ルーブル（約165兆6,666億円）（同比106.8%）
	主要産業	石油ガス産業、石炭産業、水産業、電力産業
	企業・組織数	15,738件（前年比△727件）個人事業主 17,925名（同比+59名）共に2019年初値
	外資企業数	110社（うち日本5社）（2015年1月1日現在）
	露企業との合併企業数	123社（うち日本11社）（2015年1月1日現在）
	貿易額（2018年）輸出 輸入	15,273百万米ドル（約1兆6,800億円）（対前年 144.4%） 691百万米ドル（約759億円）（対前年 49.6%） ※全ロシア 輸出 449,964百万米ドル（約49兆4,960億円）（同比 126.0%） 輸入 226,966百万米ドル（約26兆1,966億円）（同比 104.9%）
生活水準	一人当たり平均賃金	75,105ルーブル/月（約13.5万円）（2018年1～12月平均）（前年比109%）
	失業率（ILO方式）	5.3%（2018年平均）※参考 ロシア全体4.8%、北海道2.9%（2018年平均）
	消費者物価指数	102.8（2018年と2017年を対比）（前年指数 102.2%）
	自動車個人保有率	住民千人当たり321.8台（2017年） ※2009年：住民千人当たり277台
水	携帯電話普及率	1千人あたり2006.8台（2017年） ※2009年：1千人あたり1490.7台
	交通事故	2018年の発生件数725件（前年比94.0%）、死者数94人（前年比93.0%）
	乳児死亡率（0～1歳）	出生千人当たり2.8人（2018年）
	出生時平均余命	男64.6歳 女76.1歳（2017年）（ロシア平均 男67.5歳 女77.6歳）
教育機関	婚姻数、離婚数	婚姻数3,658組（前年比91.1%）、離婚数2,729組（同比99.9%）（2018年）
	高等教育機関	高等教育機関数 4校（分校含む） 在籍者数 7,000人（2017-2018年）
	主な研究機関	海洋地質学・地球物理学研究所等 ロシア科学アカデミー極東支部3機関など
主な日本機関等	主な新聞	ソヴェツキー・サハリン紙、グベルンスキエ・ヴェドモスチ紙、アルグメンティ・イ・ファクティ紙など
	在ユジノサハリンスク日本国総領事館	サハリン日本センター
	TEL：（7-4242-）72-60-55 FAX：72-55-31	TEL：（7-4242-）72-70-28 FAX：72-70-30
	北海道サハリン事務所	稚内市サハリン事務所
TEL：（7-4242-）45-75-60 FAX：45-75-63	TEL：（7-4242-）22-47-10 FAX：22-47-10	
北海道新聞ユジノサハリンスク支局	北海道銀行ユジノサハリンスク事務所	
TEL：（7-4242-）45-53-04 FAX：45-50-14	TEL：（7-4242-）45-75-23 FAX：45-75-24	

※ サハリン州国家統計委員会資料等をもとに作成 ※ 1ルーブル=1.8円、1米ドル=110円で換算

# サハリン州政府機構図

2019年6月17日現在

部分は各副首相の管轄省・局

**首相代行**  
ベリク  
アレクセイ・ウ・アシエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-01-72

**知事代行**  
リマレンコ  
ウ・アレリイ・イゴレウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-01-00

**副首相**  
ザイツェフ  
アントン・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-01-17

**副首相**  
ナウモフ  
セルゲイ・ウ・アシエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:

**副首相**  
オロンツェフ  
セルゲイ・ハ・トウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:

**副首相**  
シドレンコ  
ウラジミール・セルゲイウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-01-13

**副首相**  
アレニコフ  
ウ・ヤチェスラフ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-01-16

**副首相代行**  
ポドヴェ  
ボトベリョス・スイ・キリル・オコウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:

**副首相代行**  
バイダコフ  
セルゲイ・リボウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel

**副知事**  
ブドキン  
セルゲイ・アレクサンドロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-02-00

**知事・政府 官房長代行**  
サハリン州政府大臣  
ドリヤフロフ  
アルセーウ・イクトウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-01-32

**保健省**  
ユシユク  
ウラジミール・ニコラエウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-12-90  
Fax:43-87-38

**社会保護省**  
カンヤノフ  
エレナ・ニコラエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-09-00  
Fax:67-09-25

**建設省**  
スタツエンコ  
タチヤ・ゲンナジエウ<sup>イ</sup> 氏  
(大臣代行)  
Tel:67-07-20  
Fax:46-71-59

**住宅・公共サービス省**  
ザイツェフ  
ドミトリ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:46-92-71  
Fax:43-48-40

**デジタル開発通信省**  
マザリン  
ドミトリ・レオトウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-11-00  
Fax:46-94-70

**経済発展省**  
ウスベンスキー  
アレクセイ・アレクシエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-07-00  
Fax:50-53-40

**治安判事活動保障庁**  
ズヴァギン  
エフゲニー・ユリエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:46-65-51  
Fax:46-65-53

**知事・政府代表部代表副首相**  
グーディン  
ヒェリイ・ハ・シレビチ  
Tel:697-79-09 (モスクワ)  
Tel:697-84-56 (モスクワ)

**文化・公文書省**  
ラブリク  
ノナ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-23-23  
Fax:72-41-72

**教育省**  
ムラシヨフ  
ナタリア・アントウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:46-59-00  
Fax:43-02-35

**運輸・道路事業省**  
リ・ギル・ソソ  
(大臣代行)  
Tel:67-07-80  
Fax:46-93-67

**天然資源・環境保護省**  
ロマノフ  
アレクサンドル・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:49-82-01  
Fax:49-82-16

**財務省**  
ハルチェンコ  
アナ・アナトウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-04-00  
Fax:72-78-31

情報政策局  
-----  
国家法律局  
-----  
書記局  
-----  
内政局  
-----  
人事政策局  
-----  
動員準備・政体局  
-----  
儀典局  
-----  
規制局  
-----  
市民社会発展局  
-----  
汚職・その他犯罪防止局  
-----  
法執行機関連携局  
-----  
国民局  
-----  
北方先住民族局

**商業・食料省**  
バヴレンコ  
イナ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-26-89  
Fax:67-26-60

**青少年政策庁**  
ウムノフ  
ユコ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-10-10  
Fax:72-31-25

**林業・狩猟業省**  
コルネフ  
ウラジミール・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-24-77  
Fax:49-97-21

**電力・ガス化発展庁**  
トカレフ  
エフゲニー・ゲンナジエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-08-50  
Fax:43-10-31

**買付分野契約システム調整省**  
チャロフ  
ドミトリ・ウ・イクトウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-15-00  
Fax:67-15-20

**スポーツ省**  
ブレニコフ  
セルゲイ・スタニスラウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-10-10  
Fax:72-31-25

**労働・住民雇用庁**  
バビチ  
タチヤ・ゲンナジエウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:43-27-46  
Fax:50-53-38

**建築・都市建設庁**  
ビヤルキン  
セシヨン・アルチョモウ<sup>イ</sup> 氏  
(大臣代行)  
Tel:67-10-00

**民間防衛問題・非常事態対処・火災安全庁**  
ミヘエフ  
アナ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-10-66  
Fax:67-10-76

**財産・土地関係省**  
ナルバトワ  
スベトナ・イクトウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-05-50  
Fax:72-70-21

**観光庁**  
バホルコフ  
ナタリア・ミハイロウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-10-10  
Fax:72-31-25

**戸籍登録庁**  
スピチイナ  
ナタリア・ウ・アシエウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel/Fax:42-43-22

**建設監視監督局**  
ガレータ  
ウラジミール・イクトウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-07-60  
Fax:46-71-80

**住宅監督局**  
ガルブソフ  
イコ・リ・ミロウ<sup>イ</sup> 氏(代行)  
Tel:50-60-62  
Fax:43-68-60

**農業省**  
レフ  
ドミトリ・ハ・トウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-27-00  
Fax:46-72-53

**漁業庁**  
オム  
セルゲイ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:46-95-57  
Fax:46-95-56

**地方エネルギー委員会**  
チェクリシエフ  
ドミトリ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-23-50  
Fax:67-15-55

**地方エネルギー委員会**  
チェクリシエフ  
ドミトリ・ウラジミロウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:67-23-50  
Fax:67-15-55

**獣医学・優良種畜産局**  
クジメンコ  
ロキ・コンスタンチウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:46-72-00  
Fax:46-72-10

**文化遺産保護監督局**  
ジューク  
アナ・アレクサンドロウ<sup>イ</sup> 氏  
(代行)  
Tel:67-15-71  
Fax:67-15-70

**自動車・他機械製品品質監督局**  
グニデンコ  
ミハイル・ウ・イクトウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:72-34-15  
Fax:72-26-38

**自動車・他機械製品品質監督局**  
グニデンコ  
ミハイル・ウ・イクトウ<sup>イ</sup> 氏  
Tel:72-34-15  
Fax:72-26-38

※【参考】ロシア主要関係等

連邦政府 2019年4月24日現在

【ロシア連邦政府HPより】

首相 メドヴェージェフ ドミトリ・アトリエフ									
第一副首相 シルアノフ アントン・ゲルメグ	副首相兼政府官房長官 チュイチェンコ コンスタンチン・アトリエフ	副首相 アキモフ スラフ・アレクセエフ	副首相 ボリスフ ユリ・イヴァノフ	副首相 ゴロコヴァ タチアナ・アレクセエナ	副首相 ゴロデツ オレグ・ユリエフ	副首相 ゴルデエフ アレクセイ・ワシリエフ	副首相 コザク ドミトリ・ニコラエフ	副首相 ムトコ ゲオルギ・レボチエフ	副首相兼連邦政府副大臣 大統領副代表 トルトネフ ユリ・ベトログ

大統領府2019年4月24日現在

【ロシア大統領府HPより】

大統領 プーチン ウラジミール・ウラジミロフ				
大統領府長官 ヴァイノ アントン・シドコフ		大統領府議長 キタエバ ウラジミール・ニコラエフ		
第一副長官 キリエニコ セルゲイ・ゲラシメフ	第一副長官 グロモフ アレクセイ・アレクセエフ	副長官 マゴメドフ マゴメド・マゴメドフ	副長官 オストロヴェンコ ウラジミール・エフゲネフ	副長官兼大統領報道官 ベスコフ ドミトリ・セメフ

各省大臣						
極東開発大臣 コスロフ A. A.	天然資源・環境大臣 コビルキン D. N.	内務大臣 コロリツェフ V. A.	法務大臣 コノヴァロフ A. V.	北コーカサス担当大臣 チェボタリョフ S. V.	外務大臣 ラヴロフ S. V.	教育・科学大臣 コチュコフ M. M.
産業・貿易大臣 マントコフ D. V.	文化大臣 メジンスキー V. R.	建設・住宅公営事業大臣 ヤクシエフ V. V.	スポーツ大臣 コロボフ P. L.	通信・マスコミ大臣 ノスコフ K. Y.	エネルギー大臣 ノヴァク A. V.	民間防衛・非常事態・災害 復旧大臣 ジニチェフ E. N.
国防大臣 ショイグ S. K.	財務大臣 シルアノフ A. G.	保健大臣 スクウォルツォヴォア	運輸大臣 ディトリフ E. I.	農業大臣 パトルシェフ D. N.	労働・社会保護大臣 トピーリン M. A.	経済開発大臣 オレシキン M. S.
文部大臣 ワシリエヴァ O. Y.						

補佐官
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペロウソフ A.R.</li> <li>フルイチョヴァ L.I.(大統領国家法務局長兼任)</li> <li>スルコフ V.Y.</li> <li>レヴィテン I.E.</li> <li>カリムリン D.R.</li> <li>ウシヤコフ Yu.V.</li> <li>フルセンコ A.A.</li> <li>ゼリシェフ A. A.</li> <li>シャリコフ D. V.</li> </ul>

大統領顧問
<ul style="list-style-type: none"> <li>グラジエフ S.Yu.</li> <li>エデリゲリエフ R. S.</li> <li>コビヤコフ A.A.</li> <li>レヴィツカヤ A.Yu.</li> <li>トルストイ V.I.</li> <li>フェドトフ M.A.</li> </ul> <small>(市民社会の発展並びに人権に関する大統領委員委員長兼任)</small>

ロシア連邦地図



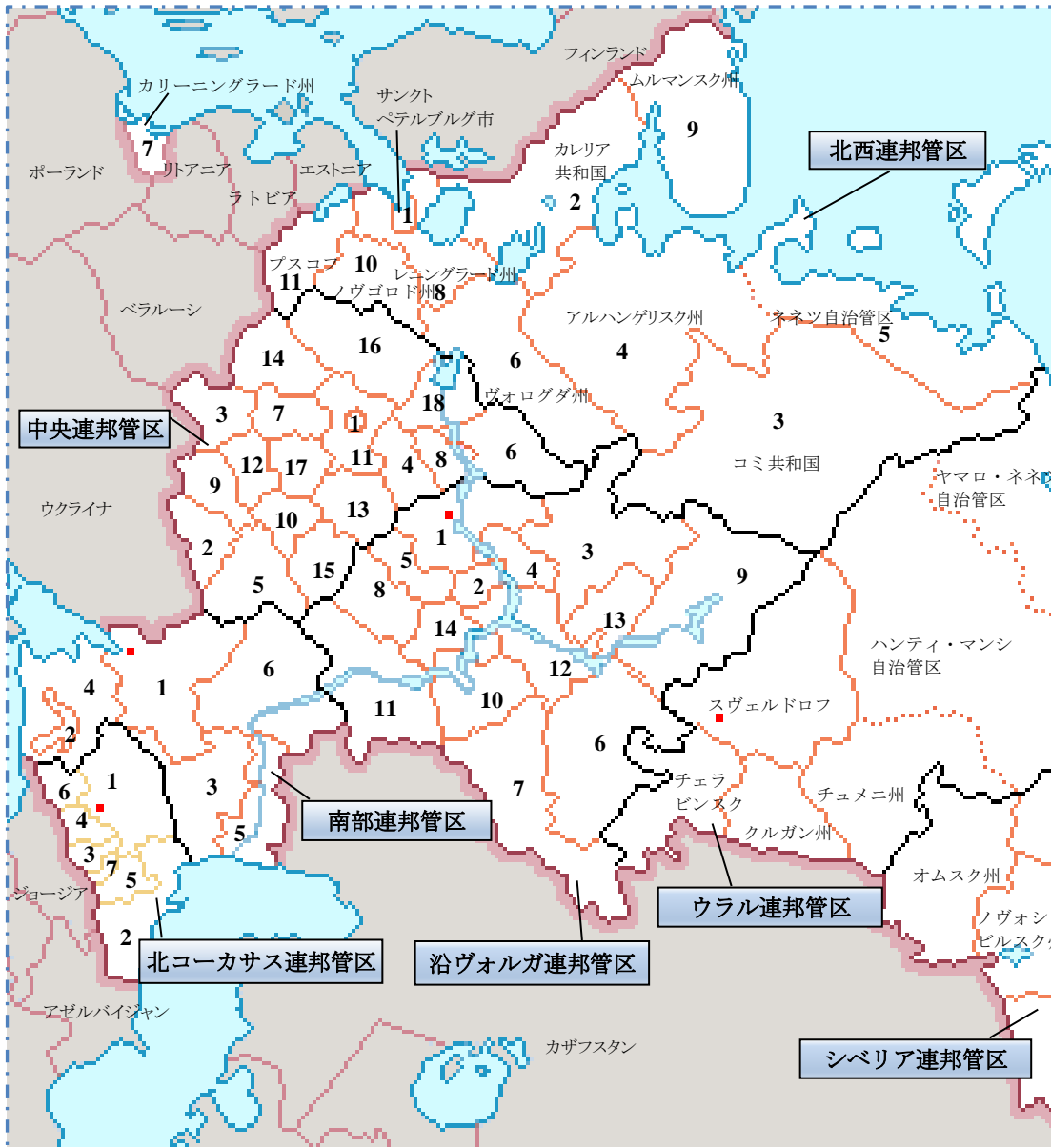
コミッションナー
<ul style="list-style-type: none"> <li>クズネツォフ K.W.(児童人権における大統領全権委員)</li> </ul>

大統領全権代表
<ul style="list-style-type: none"> <li>ムラヴョフ A.A.(連邦会議大統領全権代表)</li> <li>ミンフ G.V.(国家院[下院]大統領全権代表)</li> <li>クロトフ M.V.(憲法裁判所大統領全権代表)</li> </ul>

連邦管区大統領全権代表
<ul style="list-style-type: none"> <li>コマロフ A. (沿ヴォルガ連邦管区)</li> <li>グツァン A.V.(北西部連邦管区)</li> <li>メニヤイロ S.I.(シベリア連邦管区)</li> <li>ウスティノフ V.V.(南部連邦管区)</li> <li>ショゴレフ I.O.(中央連邦管区)</li> <li>マトヴニコフ A. A. (北コーカサス連邦管区)</li> <li>トルトネフ Yu.P.(極東連邦管区)(副首相兼任)</li> <li>ツカノフ N. N.(ウラル連邦管区)</li> </ul>

ロシア政治体制について
<p>(1)政治体制～連邦制</p> <p>(2)国家元首～連邦大統領(6年任期、ロシア連邦国民から直接選挙に基き選出。2期を超えて続けて大統領になることはできない。)</p> <p>(3)首相～国家院の同意を得て、ロシア連邦大統領より任命。</p> <p>(4)副首相、閣僚～首相の提案に基いて連邦大統領が任命、解任。</p> <p>(5)連邦議会～二院制。上院は連邦院、下院は国家院。</p> <p>○連邦院～選挙によらず、<sup>※1</sup>85の各連邦構成主体から2名の代表を選出。(行政府、議会から各1名) 任期は各連邦構成主体の規定による。</p> <p><sup>※1</sup>「クリミア共和国」、「セヴァストポリ市」含む。</p> <p>○国家院～比例代表選挙、450名の議員によって構成。<sup>※2</sup>任期は5年。</p> <p><sup>※2</sup>ロシア連邦憲法の定める場合において、規定の手続きに従い、大統領による議院解散権有り。</p>

ロシア連邦中南部の連邦管区(2019年4月1日現在)※p.3の一部拡大



- 中央連邦管区**
1. モスクワ市
  2. ベルゴロド州
  3. ブリャンスク州
  4. ヴラジミール州
  5. ヴォロネジ州
  6. コストロマ州
  7. カルーガ州
  8. イヴァノヴォ州
  9. クルスク州
  10. リベツク州
  11. モスクワ州
  12. オリョール州
  13. リャザン州
  14. スモレンスク州
  15. タンボフ州
  16. トヴェリ州

- 北西連邦管区**
1. サント・ペテルブルク市
  2. カレリア共和国
  3. コミ共和国
  4. アルハンゲリリスク州
  5. ネネツ自治管区
  6. ヴォログダ州
  7. カリーニングラード州
  8. レニングラード州
  9. ムルマンスク州
  10. ノヴゴロド州
  11. プスコフ州

- 南部連邦管区**
1. ロストフ州
  2. アディゲ共和国
  3. カルムイキア共和国
  4. クラスノダール地方
  5. アストラハン州

- 沿ヴォルガ連邦管区**
1. ニジニ・ノブゴロド州
  2. チュバシ共和国
  3. キーロフ州
  4. マリ・エル共和国
  5. モルドヴィア共和国
  6. バシコルトスタン共和国
  7. オレンブルグ州
  8. ベンザ州
  9. ペルミ地方
  10. サマーラ州
  11. サラトフ州
  12. タタルスタン共和国
  13. ウドムルト共和国
  14. ウリヤノフスク州

- 北コーカサス連邦管区**
1. スタヴロポリ地方
  2. タゲスタン共和国
  3. 北オセチア共和国
  4. カバルダ・バルカル共和国
  5. チェチェン共和国
  6. カラチャイ・チェルケス共和国
  7. イングーシ共和国

※HP「ロシアの地理」のロシア連邦の白地図を加工

【参考 サハリン州の人口(管区)】 ※次ページ地図に各管区の位置掲載

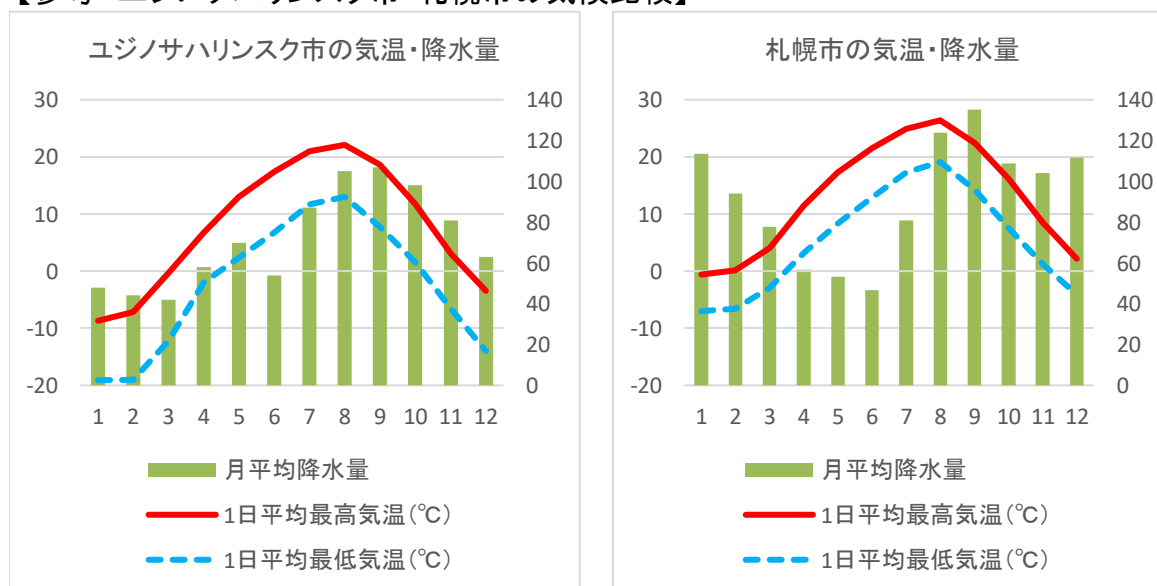
(単位;人,%)

	2017	2018		2019	
	人口	人口	前年比	人口	前年比
サハリン州	487,344	490,181	100.6	489,638	99.9
ユジノサハリンスク	201,985	206,140	102.1	208,000	100.9
オハ	22,913	22,612	98.7	22,222	98.3
ノグリキ	11,328	11,320	99.9	11,333	100.1
アレクサンドロフスク・サハリンスキー	11,336	11,143	98.3	10,887	97.7
トイモフスク	14,522	14,279	98.3	14,119	98.9
スミルヌイフ	12,003	11,891	99.1	11,742	98.7
ポロナイスク	21,788	21,622	99.2	21,578	99.8
ウグレゴルスク	18,253	17,675	96.8	17,306	97.9
マカロフ	8,166	7,989	97.8	7,731	96.8
トマリ	7,968	7,931	99.5	7,859	99.1
ドリンスク	24,254	24,173	99.7	24,001	99.3
ホルムスク	37,877	37,295	98.5	36,568	98.1
アニワ	19,439	19,657	101.1	19,569	99.6
ネベリスク	15,716	15,459	98.4	15,098	97.7
コルサコフ	40,398	40,478	100.2	40,838	100.9
北クリル	2,587	2,507	96.9	2,485	99.1
「クリル」	5,561	6,409	115.2	6,485	101.2
「南クリル」	11,250	11,601	103.1	11,817	101.9

\* サハリン州国家統計委員会の資料に基づき作成(各年1月1日時点)

\* 各行政区(中核となる市と周辺の集落とで構成)の人口を掲載

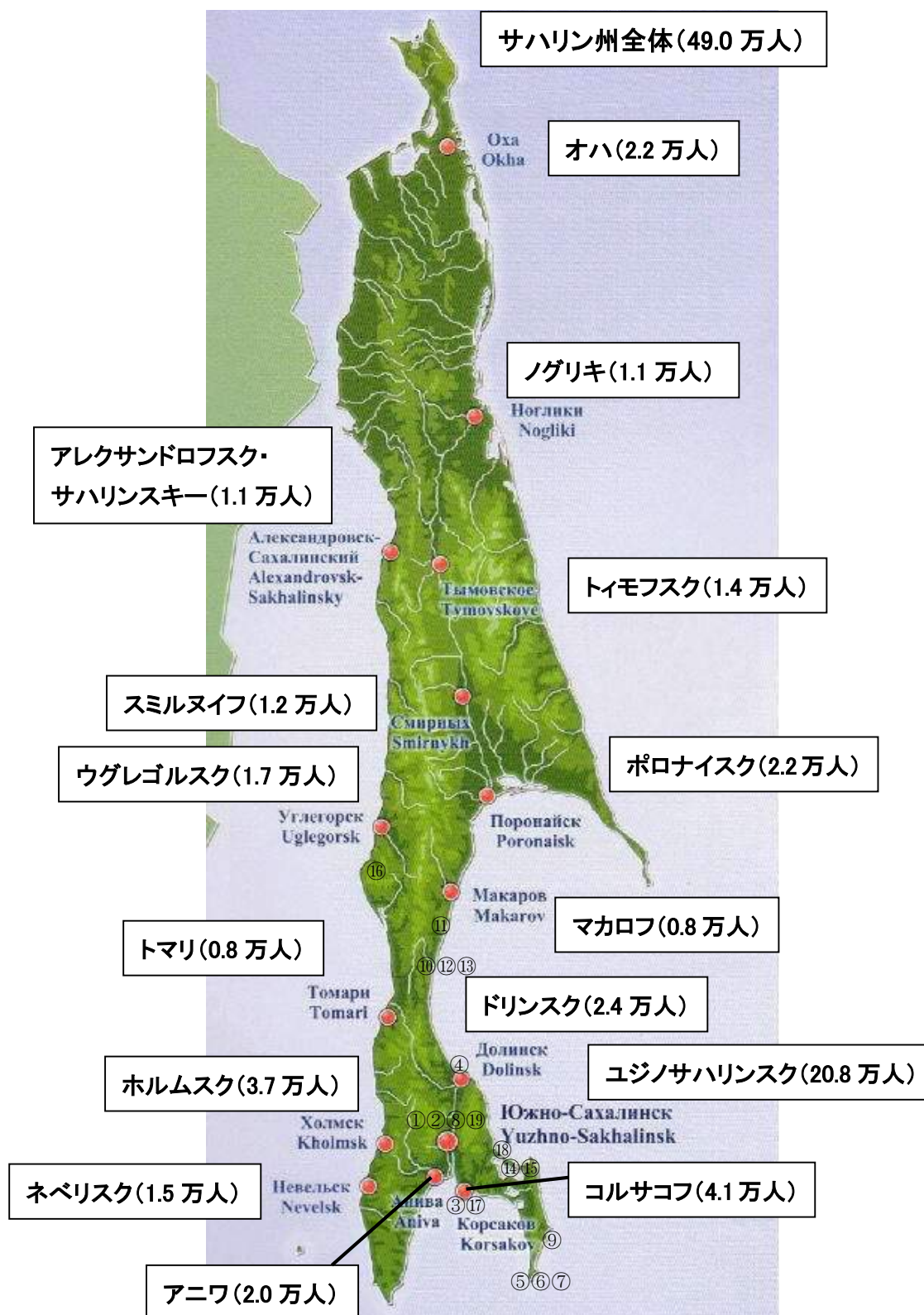
【参考 ユジノサハリンスク市・札幌市の気候比較】



\* 世界気象機関サイトデータに基づき作成(1981-2010の30年平均で算出)

## サハリン州各管区の位置・人口

※人口は、2019年1月1日現在(サハリン州国家統計委員会)



※各地域の姉妹友好提携は p.27 に掲載

※地図は写真集「Morning Islands」(サハリン州行政府を主体とした編集委員会が編集・刊行)より

※丸数字は次ページ観光資源の写真番号



## サハリン 知られざる観光資源 ～ サハリン島南部編

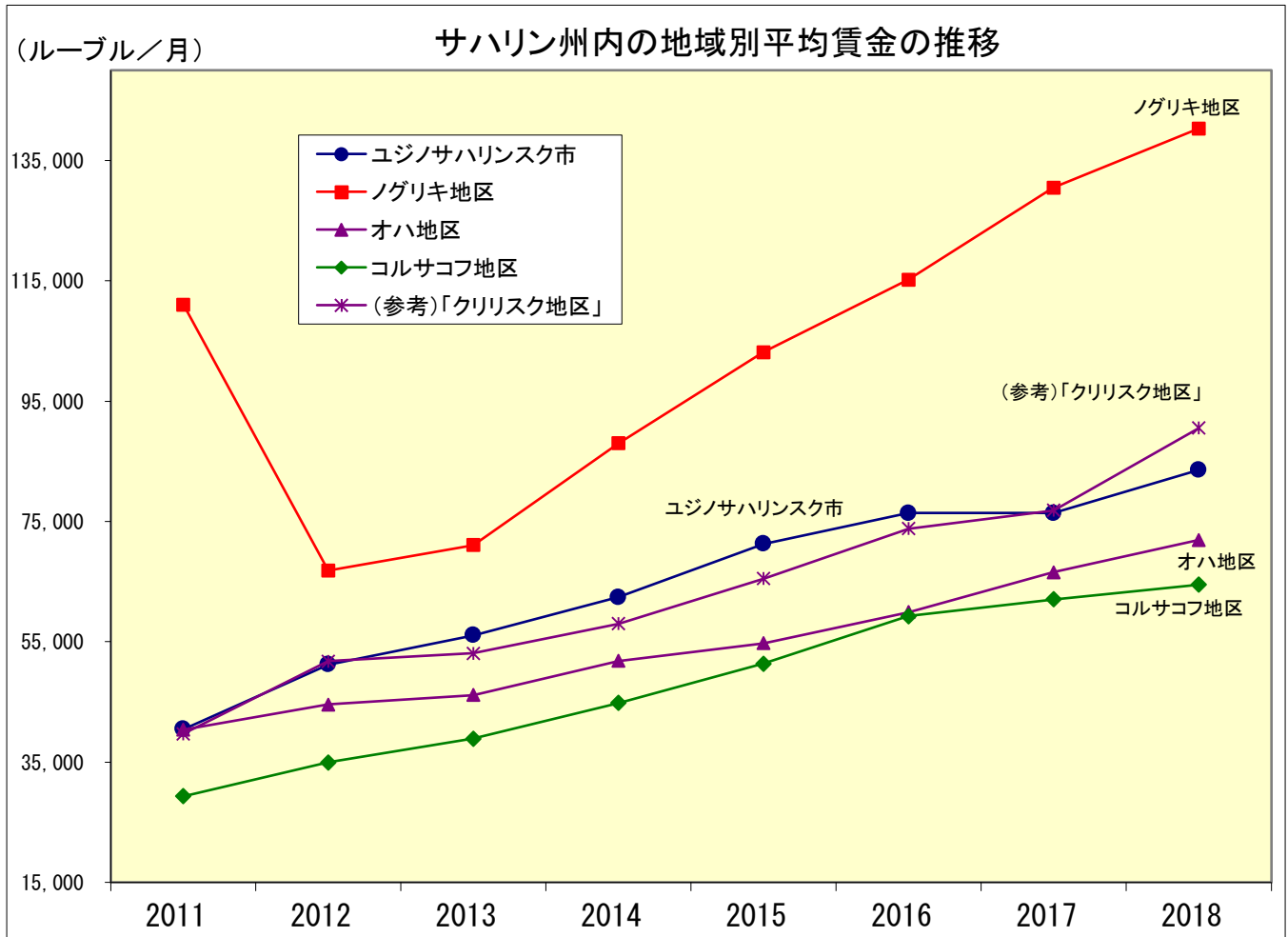
在住者目線による、四季折々のサハリンの魅力



写真提供: ポリシュック・ミハイル、オグルツォフ・アレクセイ、ポボルコヴィチ・フョドル、サハリン在住日本人  
 撮影地 (P6 地図に位置表示)

- ①ガガーリン公園桜並木通り②サハリン州立郷土博物館の桜(ユジノサハリンスク)、③潮干狩り(コルサコフ近郊)、  
 ④海釣り(スタロドゥブスコエ)、⑤⑥⑦アニワ岬灯台(島南東部)、⑧マヨルスカヤ山(ユジノサハリンスク近郊)、  
 ⑨エフスタフィヤ岬(島南東部)、⑩チハヤ湾⑪クロコワ山⑫⑬ジダンコ山(マカロフ南側)、⑭⑮氷上釣り(トゥナイチャ湖)、  
 ⑯イチャラ山(ウグレゴルスク南側)、⑰犬ぞり(コルサコフ)、⑱流氷(オホーツク海岸)、  
 ⑲山の空気スキー場(ユジノサハリンスク)

## II. 経済 ① 平均賃金推移



サハリン州内の地域別の平均賃金の推移 (ルーブル/月)

	全サハリン州	ユジノサハリンスク市 (州都)	ノグリキ地区 (サハリン1,2)	オハ地区 (従前開発サイト)	コルサコフ地区 (州第二の都市)	(参考)「クリリスク地区」 (択捉島など(漁業))
全企業の従業者数(千人)	(183.3)	(102.6)	(5.0)	(8.0)	(9.7)	(3.6)
うち大・中企業(千人)	(140.1)	(77.4)	(5.0)	(6.3)	(6.5)	(2.8)
2011年	38,458	40,437	111,057	40,377	29,302	39,700
2012年	44,453	51,190	66,832	44,558	34,932	51,759
2013年	48,438	56,047	71,061	46,143	38,869	53,086
2014年	54,575	62,408	87,996	51,807	44,804	57,969
2015年	61,215	71,248	103,123	54,729	51,334	65,510
2016年	66,239	76,361	115,177	59,893	59,241	73,773
2017年	68,827	76,369	130,488	66,537	62,025	76,851
2018年	75,105	83,563	140,323	71,923	64,481	90,516

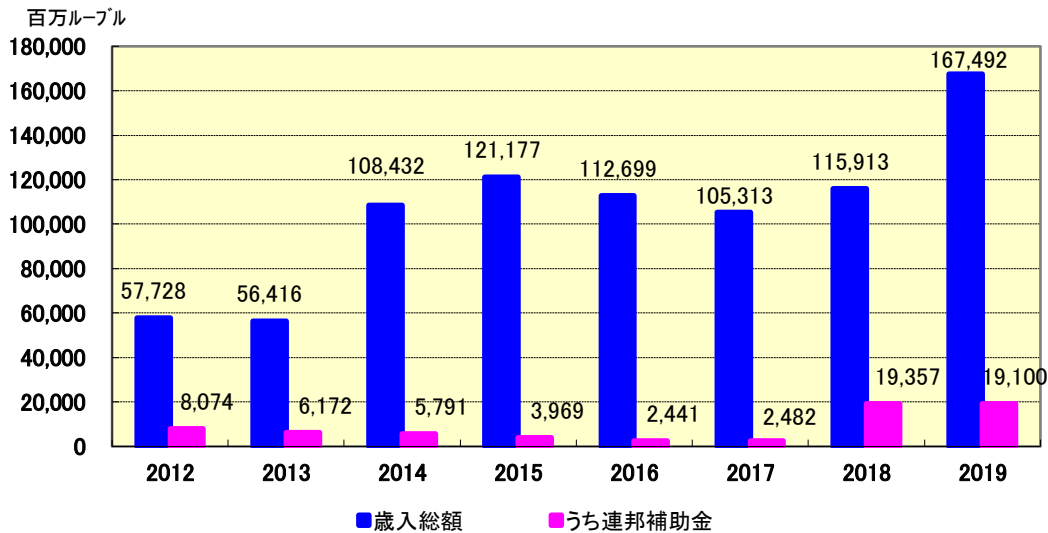
平均賃金の高い業種、低い業種 (各年12月時点の単月比較)

	1	2	3	最低
2011年	エネルギー資源採掘業	金融事業	国家公務員(軍関連)	商業・修理業
2012年	エネルギー資源採掘業	国家公務員(軍関連)	金融事業	水産加工業
2013年	エネルギー資源採掘業	輸送機械設備製造業	金融事業	水産加工業
2014年	エネルギー資源採掘業	金融事業	国家公務員(軍関連)	水産加工業
2015年	エネルギー資源採掘業	金融事業	不動産・賃貸・サービス業	その他製造業
2016年	エネルギー資源採掘業	金融事業	国家公務員(軍関連)	その他製造業
2017年	エネルギー資源採掘業	金融事業	科学技術研究事業	その他製造業
2018年	輸送機械設備製造業	機械設備製造業	エネルギー資源採掘業	家具製造業

※サハリン州国家統計委員会の公表資料等をもとに作成

## ② サハリン州当初予算額の推移

### サハリン州当初予算の歳入と連邦補助金の推移



歳入の対前年比(%)	
2012	83.4
2013	97.7
2014	192.2
2015	111.8
2016	93.0
2017	93.4
2018	110.1
2019	144.5

単位:百万ルーブル

	2014	2015	2016	2017	2018	2019
<b>歳入総額 ※</b>	<b>108,432</b>	<b>121,177</b>	<b>112,699</b>	<b>105,313</b>	<b>115,913</b>	<b>167,492</b>
企業利潤税				49,233	37,853	76,654
個人所得税				16,622	17,543	19,945
鉱物資採掘税				1,850	1,597	2,571
生産物分与協定による収益				16,024	24,305	30,352
その他				18,970	11,857	15,229
他の予算からの振替(連邦補助金等)	5,791	3,969	2,441	2,483	19,357	19,101
その他連邦政府からの収入				131	3,401	3,640

<b>歳出総額</b>	<b>115,091</b>	<b>129,900</b>	<b>129,303</b>	<b>111,393</b>	<b>130,131</b>	<b>176,206</b>
全国共通諸課題	10,403	9,009	5,187	4,277	3,664	4,961
国民経済	22,494	24,985	27,423	23,202	26,199	36,816
(うち 燃料・エネルギー)	3,751	5,035	5,036	2,830	4,370	4,803
(うち 農林水産業)	2,632	3,205	4,004	3,373	3,547	3,883
(うち 道路事業)	9,197	10,599	14,045	9,385	12,853	18,003
住宅公共事業	20,928	24,550	21,201	17,679	18,469	28,960
環境保護	546	915	600	156	322	375
教育	19,511	22,997	18,802	16,796	22,275	28,119
文化、映画振興	3,549	3,318	2,524	1,882	3,104	4,730
保健、体育、スポーツ	17,186	19,347	24,594	14,368	21,406	28,551
社会政策	12,360	13,173	17,088	22,014	23,071	26,629
その他	8,114	11,606	11,885	11,019	11,621	17,065
(うち予算間振替(連邦構成主体、市町村への助成金、交付金等))	5,299	8,681	8,860	8,528	8,452	12,864

・歳入、歳出予算の赤字は、金融機関からのクレジット、剰余金等で補填

※2010～2016年度は歳入予算の内訳非公表

### ③ 産業の概要

#### (1) 産業別就業者数

注)ロシア極東地域(2017年)			サハリン州			参考～北海道(2015年)		
	就業者数 (構成比)				就業者数 (構成比)			
	(千人)	(%)	(千人)	(%)	(千人)	(%)	(千人)	(%)
農林水産	225	(7.1)	17	(6.0)	農業、林業	139	(5.7)	
鉱業	115	(3.6)	10	(3.5)	漁業	32	(1.3)	
建設	286	(9.0)	39	(13.8)	鉱業	2	(0.1)	
製造業	271	(8.5)	18	(6.4)	建設業	205	(8.4)	
電気・ガス	130	(4.1)	10	(3.5)	製造業	204	(8.4)	
水、廃棄物、環境保全	33	(1.0)	3	(1.1)	電気、ガス、熱、水道業	13	(0.5)	
情報通信	57	(1.8)	4	(1.4)	情報通信業	42	(1.7)	
運輸	296	(9.3)	26	(9.2)	運輸、郵便業	131	(5.4)	
卸売・小売・修理	553	(17.3)	47	(16.7)	卸売、小売業	378	(15.5)	
ホテル・外食	72	(2.3)	8	(2.8)	宿泊、飲食サービス業	145	(6.0)	
不動産等	74	(2.3)	8	(2.8)	不動産業	46	(1.9)	
教育	279	(8.7)	21	(7.4)	教育・学習支援業	105	(4.3)	
保健、社会保障	216	(6.8)	20	(7.1)	医療、福祉	326	(13.4)	
その他	584	(18.3)	51	(18.1)	金融・保険等	48	(2.0)	
					その他サービス業	357	(14.7)	
					公務	127	(5.2)	
					分類不能の産業	135	(5.5)	
計	3,191	100.0	282	(100.0)	計	2,435	(100.0)	

※「ロシアの地域：社会経済統計2017」(ロシア国家統計委員会)より

※H27年国勢調査結果による

注)極東連邦管区の9連邦構成主体の地域(サハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方、アムール州、マガダン州、サハ共和国、カムチャッカ地方、ユダヤ自治州、チエコト自治管区)

#### (2) 社会主要項目の動向(2018年)

	金額	前年比
	(百万ルーブル)	(%)
建設工事実施金額	42,182	63.4
農業生産高	10,605	89.1
小売業の売上高	150,167	106.3
外食の売上高	9,000	117.0
対住民サービス売上高	54,624	103.7
貿易額(百万US\$)	15,963	133.4
うち:輸出(百万US\$)	15,273	144.5
うち:輸入(百万US\$)	690	49.6

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

#### (3) 業種別企業取引高(2018年)

	金額	前年比	(構成比)
	(百万ルーブル)	(%)	(%)
有用化石燃料の採掘	1,012,975	153.9	66.3
製造業	46,467	121.6	3.0
電力、ガス供給	21,729	102.5	1.4
水道、廃棄物、環境保全	2,233	116.9	0.1
農業・林業・狩猟	6,064	136.5	0.4
漁業	36,664	96.4	2.4
建設業	79,232	100.7	5.2
運輸	80,913	109.5	5.3
情報通信	15,132	143.7	1.0
卸売・小売・修理	142,284	67.8	9.3
ホテル・外食	8,746	127.2	0.6
不動産等	13,149	62.2	0.9
教育	2,416	135.0	0.2
保健、社会保障	20,384	125.6	1.3
その他	39,726	93.3	2.6
計	1,528,114	124.7	100.0

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

(4) 産業別生産量等

(4)－1 各燃料の生産量(サハリン州、2018年)

区 分 (単位)	生産量	前年比 (%)	生産量 2017年	生産量 2016年
原油・ガス採掘業				
原油(ガスコンデンセートを含む) (千トン)	19,253	108.7	17,710	18,315
ガスコンデンセート (千トン)	2,147	104.0	2,065	2,200
天然ガス、それに付随するガス (百万m3)	32,378	106.1	30,505	29,553
可燃性の液化・再ガス化された天然ガス (百万m3)	11,345 <sup>2)</sup>	99.3	11,425 <sup>2)</sup>	10,871 <sup>(2)</sup>
石炭鉱業				
石炭 (千トン)	10,790	141.2	7,641	7,188
うち:石炭 (千トン)	2,326	79.2	2,936	1,212
褐炭 <sup>1)</sup> (千トン)	8,464	179.9	4,705	5,976
濃縮泥炭 (千トン)	—	—	—	7

1)炭化の程度の低い、暗褐色の石炭。水分・揮発分を多く含み、火力は弱く、灰を多く残す。

2)サハリン州国家統計委員会の資料では生産量は非開示であるが、前年比は記載されているため過去の数字を基に算出

【参考】日本時代の炭坑町～川上(シネゴルスク)、内淵(ピコフ)、白浦(ヴズモーリエ)、知取(マカロフ)、  
内幌(ゴルノザヴォーツク)、恵須取(ウグレゴルスク)、塔路(シャフチョルスク)

(4)－2 建材工業製品の生産量(サハリン州、2018年)

区 分 (単位)	生産量	前年比 (%)	生産量 2017年	生産量 2016年
コンクリート (千m3)	118	70.7	167	105
ブロック製品(コンクリート等の建物建設用) (千m3)	6	120.0	5	9

(4)－3 林業、木材加工、パルプ・製紙工業別の生産量(サハリン州、2018年)

区 分 (単位)	生産量	前年比 (%)	前年度生産量 2017年	前々年度生産量 2016年
木材生産				
加工されていない木材 (千m3)	218	94.4	231	254
家具生産等				
机 (脚)	260	30.5	853	1,254
肘掛け椅子 (脚)	—	—	—	844
ソファ類 (脚)	4,177	90.7	4,605	4,881
戸棚 (台)	1,339	57.3	2,335	2,141
印刷・出版・印刷物 (2016年)以降未公表			2015年	2014年
新聞(A2、4面) (百万枚)	25	78.9	32	36
本・パンフレット・ちらし・用紙等 (百万枚)	12	79.3	15	15

## (4) - 4 食品産業の生産量(サハリン州、2018年)

区 分	(単位)	生産量	前年比 (%)
<b>飲料</b>			
ミネラルウォーター(500cc瓶換算)	(千本)	19,541	53.0
非アルコール飲料	(万リットル)	1,731	103.7
ビール	(万リットル)	1,020	115.9
<b>食肉加工</b>			
食肉(副次品を含む)	(トン)	5,218	188.2
家禽類の肉	(トン)	1,314	81.9
肉を使用した半製品	(トン)	1,435	104.7
ソーセージ類	(トン)	2,044	137.5
<b>乳製品</b>			
加工用に供された牛乳	(トン)	14,870	95.9
バター	(トン)	130	142.9
チーズ、カッテージチーズ	(トン)	1,280	97.1
<b>水産加工</b>			
魚と魚加工品(缶詰を含む)	(千トン)	491,719	95.4
うち:魚卵、肝臓、白子	(千トン)	15,478	229.5
魚の缶詰	(千缶)	12,229	68.3
<b>その他</b>			
パン類	(トン)	17,153	95.5
菓子類	(トン)	2,533	80.3
チョコレート類	(トン)	-	94.5

1)本年度より一部・全部数値非開示項目。記載数値は前年比(%)より算出した目安値

2)数値非開示項目

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

## (4) - 4a 生産量の推移 5年(食肉加工、乳製品、水産加工)

食肉加工(単位:トン)	2014年	2015年	前年比	2016年	前年比	2017年	前年比	2018年	前年比
食肉	1,420	1,933	136.1	2,670	138.1	2,773	103.9	5,218	188.2
家禽類の肉	389	402	103.3	472	117.4	1,605	340.0	1,314	81.9
肉を利用した半製品	1,019	905	88.8	1,052	116.2	1,371	130.3	1,435	104.7
ソーセージ類	1,651	1,417	85.8	1,666	117.6	1,487	89.3	2,044	137.5
<b>乳製品(単位:トン)</b>									
加工用牛乳	14,112	14,981	106.2	17,121	114.3	15,512	90.6	14,870	95.9
乳製品(牛乳換算)	32,395	34,005	105.0	41,410	121.8	-	-	-	-
バター	54	94	174.1	74	78.7	91	123.0	130	142.9
チーズ、カッテージチーズ	1,503	1,651	109.8	1,954	118.4	1,318	67.5	1,280	97.1
<b>水産加工(単位:トン)</b>									
魚と魚加工品(缶詰含)	439,942	516,289	117.4	498,697	96.6	515,567	103.4	491,719	95.4
うち魚卵、肝臓、白子	9,629	11,535	119.8	11,744	101.8	6,744	57.4	15,478	229.5
魚の缶詰(単位:缶)	14,259	15,525	108.9	19,462	125.4	17,909	92.0	12,229	68.3

※前年比も含めてサハリン州社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より転載

## (4) - 5 主要農産物の販売量(サハリン州、2018年)

区 分	(単位)	販売量	前年比 (%)
家畜及び家禽(生体重量)	(トン)	11,392	188.2
牛乳	(トン)	26,968	111.1
卵	(千個)	145,997	136.6
じゃがいも	(トン)	33,905	93.6
野菜	(トン)	26,613	102.1

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

(4)－6 農業生産 (サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より転載)

○ 農業生産高

	2018年						2017年					
	合計		農作物		畜産		合計		農作物		畜産	
	百万Rb	(%)	百万Rb	(%)	百万Rb	(%)	百万Rb	(%)	百万Rb	(%)	百万Rb	(%)
農業企業・団体	5,742	(54.1)	2,198	(38.6)	3,543	(72.1)	5,614	(47.2)	2,643	(35.9)	2,970	(65.3)
農場主農場・個人農家	1,519	(14.3)	884	(15.5)	635	(12.9)	1,589	(13.4)	1,076	(14.6)	513	(11.3)
住民の農場	3,344	(31.5)	2,611	(45.9)	733	(14.9)	4,698	(39.5)	3,634	(49.4)	1,064	(23.4)
計	10,605	(100.0)	5,693	(100.0)	4,911	(100.0)	11,901	(100.0)	7,353	(100.0)	4,547	(100.0)

○ 農産物の作付面積 (ha, %)

	2018年		2017年		2018/2017
	ha	(%)	ha	(%)	
じゃがいも	3,772	(13.1)	5,801	(19.1)	65
野菜	1,193	(4.1)	1,655	(5.5)	72
飼料作物	23,899	(82.8)	22,892	(75.4)	104
計	28,864	(100.0)	30,348	(100.0)	95

※ 米、麦類、ソバ等の穀物の生産データはない。  
果樹についても生産データがない。

○ じゃがいも・野菜の収穫量・作付面積等(2018年)

	じゃがいも			野菜		
	収穫量 千t (%)	作付面積 ha (%)	単収 t/ha	収穫量 千t (%)	作付面積 ha (%)	単収 t/ha
農業企業・団体	29.9 (44.4)	1,240 (32.9)	24.1	21.9 (56.9)	354 (29.7)	61.9
農場主農場・個人農家	16.3 (24.2)	796 (21.1)	20.5	8.9 (23.1)	350 (29.3)	25.4
住民の農場	21.2 (31.5)	1,736 (46.0)	12.2	7.7 (20.0)	489 (41.0)	15.7
計	67.4 (100.0)	3,772 (100.0)	17.9	38.5 (100.0)	1,193 (100.0)	32.3

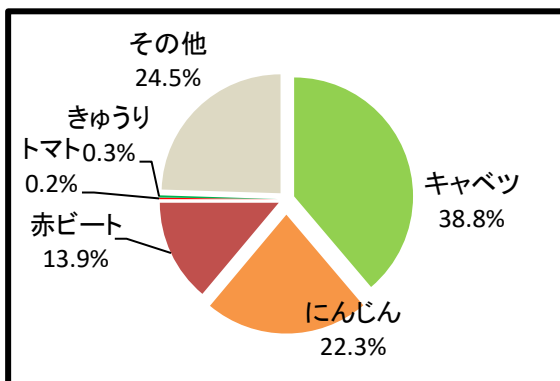
※野菜の作付面積は露地栽培に加え、住民の農場における温室栽培も含む。

※野菜の収穫量は温室栽培を含む。

※収穫量の対前年比～じゃがいも71%、野菜85%

単収の対前年比～じゃがいも109%、野菜118%

○ 野菜(露地栽培)の品目別割合(2018年)



○ 家畜の飼養頭数(5年間推移)

(単位:頭、羽)

		2015年	2016年	前年比	2017年	前年比	2018年	前年比	2019年	前年比
		牛	①	9,560	9,141	95.6	10,830	118.5	11,792	108.9
	②	3,325	3,693	111.1	4,187	113.4	5,122	122.3	5,669	110.7
	③	5,315	4,962	93.4	5,182	104.4	5,206	100.5	4,335	83.3
	合計	18,200	17,796	97.8	20,199	113.5	22,120	109.5	23,560	106.5
豚	①	12,423	19,341	155.7	18,829	97.4	43,418	230.6	43,754	100.8
	②	1,082	1,153	106.6	1,205	104.5	1,533	127.2	1,414	92.2
	③	3,699	3,718	100.5	5,531	148.8	5,439	98.3	3,255	59.8
	合計	17,204	24,212	140.7	25,565	105.6	50,390	197.1	48,423	96.1
羊・山羊	①	461	657	142.5	363	85.3	270	74.4	296	109.6
	②	707	1,277	180.6	1,876	146.9	1,780	94.9	1,784	100.2
	③	1,836	2,022	110.1	2,825	139.7	3,386	119.9	3,371	99.6
	合計	3,004	3,956	131.7	5,064	128.0	5,436	107.3	5,451	100.3
家禽(鶏)	①	438,350	500,438	114.2	510,848	102.1	650,281	127.3	576,832	88.7
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	522,276	629,800	120.6	663,050	105.3	890,661	134.3	830,293	93.2

①農業企業・団体 ②農場主農場・個人農家 ③住民の農場

○ 家畜の飼養頭数(2019年1月1日現在)

(単位:頭、羽)

	牛 (%)	うち:雌牛 (%)	豚 (%)	羊・山羊 (%)	家禽 (%)
農業企業・団体	13,556 (57.5)	5,629 (57.5)	43,754 (90.4)	296 (5.4)	576,832 (69.5)
農場主農場・個人農家	5,669 (24.1)	2,317 (23.7)	1,414 (2.9)	1,784 (32.7)	-
住民の農場	4,335 (18.4)	1,850 (18.9)	3,255 (6.7)	3,371 (61.8)	-
計	23,560 (100.0)	9,796 (100.0)	48,423 (100.0)	5,451 (100.0)	830,293 (100.0)
対前年比(%)	106.5	106.6	95.1	100.3	93.2

○ 主要畜産物の生産量(2018年) (単位:トン、卵は百万個)

	食肉 (%)	牛乳 (%)	卵 (%)
農業企業・団体	10,492 (83.8)	17,658 (51.8)	128.7 (84.0)
農場主農場・個人農家	878 (7.0)	8,667 (25.4)	8.1 (5.3)
住民の農場	1,152 (9.2)	7,748 (22.7)	16.4 (10.7)
計	12,522 (100.0)	34,073 (100.0)	153.2 (100.0)
対前年比(%)	147.7	110.6	117.2

※ 食肉は、家畜及び家禽の生体重。

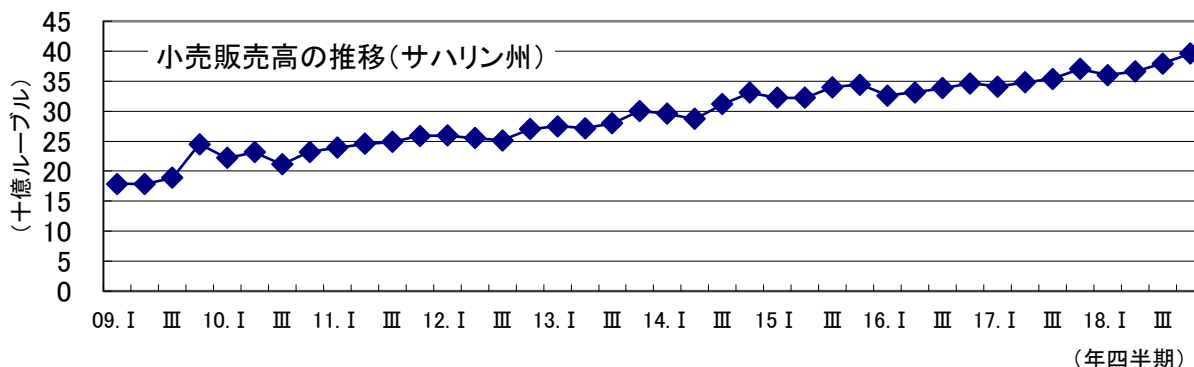
(5) 消費市場(サハリン州 2018年)

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

(5) - 1 小売販売の売上高の推移 (百万ルーブル)

	第 I 四半期	第 II 四半期	第 III 四半期	第 IV 四半期	計	前年比(%)
2014年	29,564	28,700	31,176	33,111	122,551	108.8
2015年	32,265	32,251	33,988	34,446	132,950	108.5
2016年	32,590	33,128	33,820	34,667	134,202	100.9
2017年	34,111	34,816	35,372	37,031	141,330	105.3
2018年	36,021	36,613	37,953	39,581	150,167	106.3

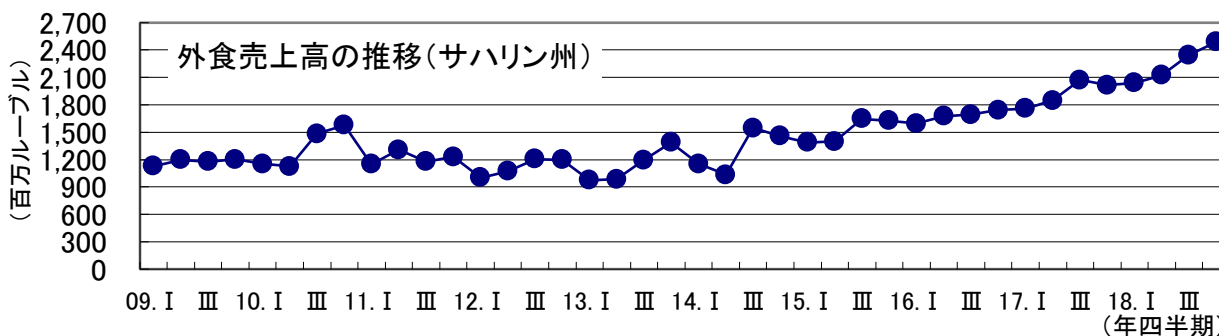
※前年比は公表数値から計算



(5) - 2 外食の売上高の推移 (百万ルーブル)

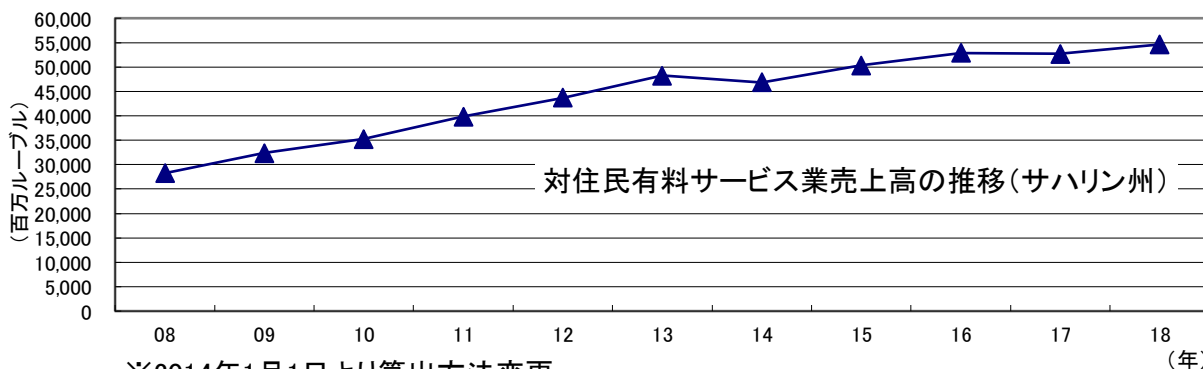
	第 I 四半期	第 II 四半期	第 III 四半期	第 IV 四半期	計	前年比(%)
2014年	1,153	1,034	1,546	1,459	5,192	114.3
2015年	1,390	1,399	1,647	1,626	6,062	116.8
2016年	1,594	1,676	1,694	1,741	6,705	110.6
2017年	1,759	1,846	2,071	2,015	7,690	114.7
2018年	2,039	2,125	2,347	2,488	8,999	117.0

※前年比は公表数値から計算



(5) - 3 住民に対する有料サービス業の売上高の推移 (百万ルーブル)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高	46,873	50,313	52,886	52,680	54,624



※2014年1月1日より算出方法変更

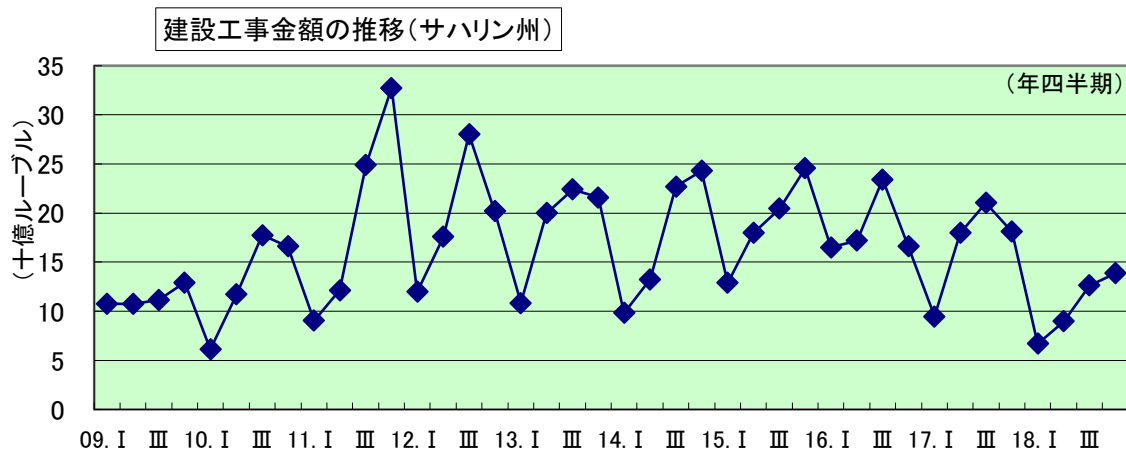


(6) 建設市場

(6)－1 建設工事金額の推移(サハリン州、2018年)

	第Ⅰ四半期	第Ⅱ四半期	第Ⅲ四半期	第Ⅳ四半期	計	(単位:百万ルーブル)
2014年	9,837	13,236	22,692	24,307	70,073	
2015年	12,889	17,986	20,441	24,562	75,878	
2016年	16,492	17,179	23,419	16,600	73,691	
2017年	9,472	17,960	21,022	18,108	66,562	
2018年	6,705	8,988	12,618	13,870	42,181	

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委)より



(6)－2 住宅建設面積(サハリン州、2018年)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総面積 (m <sup>2</sup> )	304,499	312,093	329,169	340,555	264,324
うち個人建設(m <sup>2</sup> )	102,961	107,991	143,314	149,022	104,005

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

(7) 貨物輸送市場

○車両輸送データ(サハリン州、2018年)

区 分	2018年	前年比 (%)
輸送積載量(単位:千トン)	4,777	121.7
取扱実績(単位:百万トンキロメートル)		
※1トンの貨物を1km運ぶと1トンキロメートル	142	110.9
輸送旅客数(単位:千人)	34,404	110.0
旅客実績(単位:百万人キロメートル)		
※1人の旅客を1km運ぶと1人キロメートル	268	95.4

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

#### ④ 貿易の概要

##### (1) 品目別貿易概況

##### (1)－1 輸出(サハリン州)

区 分	2018年 輸出額 (百万USD)	2017年 輸出額 (百万USD)	前年比 (%)
鉱物製品	14,197.4	9,492.1	149.6
うち原油	輸出額・百万USD 9,076.0 輸出量・千トン 16,605.2	5,945.8 14,933.8	152.6 111.2
うち天然ガス	輸出額・百万USD 4,531.6 輸出量・千m <sup>3</sup> 29,352.9	3,163.8 24,340.1	143.2 120.6
食品、農業原料	809.5	659.6	122.7
(参考) 魚類及び海産物輸出額	(793.2)	(643.2)	123.3
機械設備、輸送機器	192.3	385.7	49.9
金属、金属製品	70.3	33.7	208.6
木材及びパルプ・紙製品	0.0	0.1	0.0
化学工業製品	1.1	1.0	110.0
せんい、せんい製品、靴	0.1	0.4	25.0
革・毛皮の製品及び原料	0.0	0.0	-
貴金属・宝石	0.0	-	-
その他	2.0	0.5	400.0
計	15,272.7	10,573.1	144.4

※ 原油の65.5%(前年比+4.8pt)は韓国へ、22.2%(同△4.8pt)は日本へ、12.3%(同±0)は中国へ(量ベース)

天然ガスの59.5%(同△10.2pt)は日本へ、16.3%(同+0.4pt)は韓国へ、24.3%(同+12.3pt)は中国・台湾へ(量ベース)

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

##### (1)－2 輸入(サハリン州)

区 分	2018年 輸入額 (百万USD)	2017年 輸入額 (百万USD)	前年比 (%)
鉱物製品	32.0	23.0	139.1
食品、農業原料	18.8	14.2	132.4
機械設備、輸送機器	370.7	1,070.3	34.6
金属、金属製品	165.6	186.2	88.9
木材及びパルプ・紙製品	3.4	3.8	89.5
化学工業製品	50.6	60.0	84.3
せんい、せんい製品、靴	11.4	9.5	120.0
革・毛皮の製品及び原料	1.1	0.7	157.1
貴金属・宝石	0.0	0.0	-
その他	37.0	23.5	157.4
計	690.6	1,391.2	49.6

※サハリン州の社会経済情勢に関する報告書(サ州国家統計委員会)より

## (1)-3 対日輸出額(サハリン州)

単位:千USD

区 分	2018年	2017年	前年比(%)
食品、農業原料	74,853	59,649	125.5
うち海産物・海産物加工品※	74,172	59,649	124.3
鉱物製品	4,985,338	3,939,624	126.5
うち原油	2,030,671	1,621,802	125.2
うち天然ガス	2,941,224	2,298,847	127.9
化学工業製品	189	275	68.8
革・毛皮の製品及び原料	0	0	-
木材及びパルプ・紙製品、印刷物	1	5	27.7
せんい、せんい製品、靴	52	92	56.5
貴金属・宝石	0	0	-
金属、金属製品	5,936	105	約57倍
機械設備、輸送機器(船、ボート含む)	134,044	57,130	234.6
その他	0	1	0.0
合計	5,200,414	4,056,880	128.2

※海産物の輸出額上位(2018年)

①イクラ・白子・肝(20,453千USD)②冷凍エビ(18,979千USD)③うに(生鮮・チルド)(16,365千USD)

※サハリン州税関データベースより

## (1)-4 対日輸入額(サハリン州)

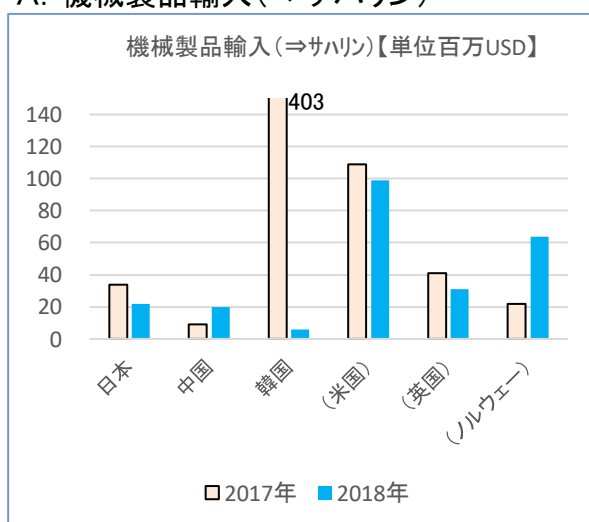
単位:千USD

区 分	2018年	2017年	前年比(%)
食品、農業原料	1,962.3	1,286.6	152.5
鉱物製品	270.9	324.3	83.5
化学工業製品	852.8	460.6	185.1
革・毛皮の製品及び原料	0.2	0.1	200.0
木材及びパルプ・紙製品、印刷物	103.2	181.5	56.9
せんい、せんい製品、靴	1,242.5	274.0	453.5
貴金属・宝石	0.0	0.0	-
金属、金属製品	25,281.0	25,697.7	98.4
機械設備、輸送機器	21,908.8	33,885.9	64.7
その他	659.2	710.8	92.7
合計	52,280.9	62,821.5	83.2

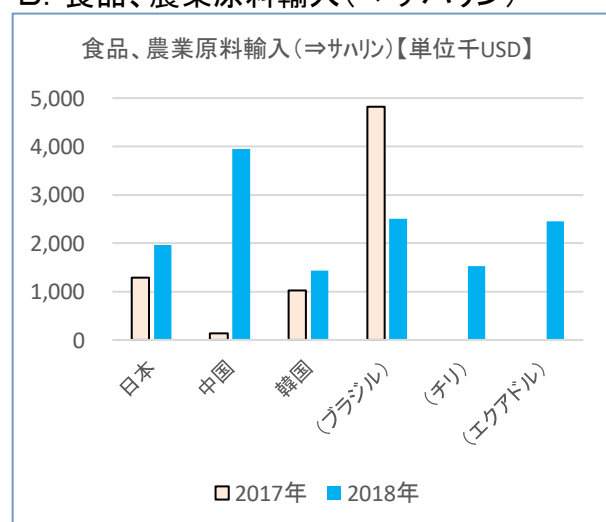
※サハリン州税関データベースより

## (1)-5 機械製品・食品、農業原料輸入比較(アジア3ヶ国+上位3ヶ国)

## A. 機械製品輸入(⇒サハリン)



## B. 食品、農業原料輸入(⇒サハリン)



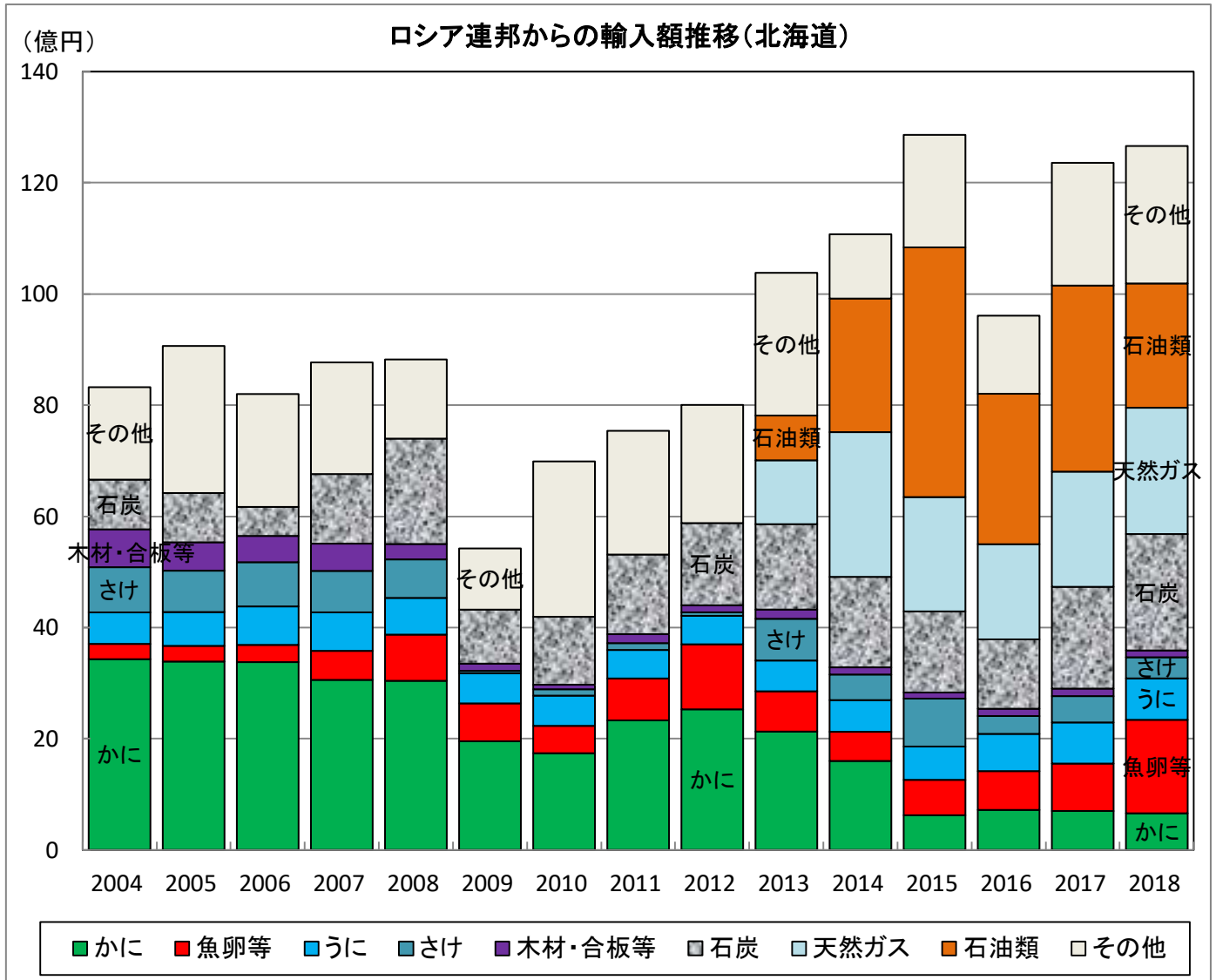
※サハリン州税関データベースより

(2) 北海道とロシア連邦の貿易実績(上位5品目-9桁コード)

(単位:百万円)

区分	年	2013年(平成25年)		2014年(平成26年)		2015年(平成27年)		2016年(平成28年)		2017年(平成29年)		2018年(平成30年)	
輸 出 品 道 目	全 国	1,069,345	100%	971,850	100%	617,659	100%	554,661	100%	673,722	100%	805,472	100%
	北海道	13,272	1.24%	11,914	1.23%	6,806	1.10%	4,618	0.83%	5,687	0.84%	7,750	0.96%
	主	1 乗用車(1000~1500cc)の中古車	2,180	1 乗用車(1000~1500cc)の中古車	2,063	1 乗用車(1000~1500cc)の中古車	999	1 乗用車(1000~1500cc)の中古車	812	1 乗用車(1000~1500cc)の中古車	775	1 乗用車(1000~1500cc)の中古車	1,139
	北	2 乗用車(2000~3000cc)の中古車	2,079	2 乗用車(2000~3000cc)の中古車	1,551	2 乗用車(2000~3000cc)の中古車	629	2 乗用車(2000~3000cc)の中古車	514	2 乗用車(1500~2000cc)の中古車	745	2 乗用車(1500~3000cc)の中古車	858
	海	3 乗用車(1500~2000cc)の中古車	1,454	3 乗用車(1500~2000cc)の中古車	1,486	3 乗用車(1500~2000cc)の中古車	389	3 その他火花点火機関(1,000cc以上)	216	3 魚の調製用機械	420	3 その他車両	470
	道	4 魚の調製用機械	601	4 魚の調製用機械	530	4 すけそうだらすり身(テラグラ・カルコグランマ)	357	4 金属圧延機用ロール	203	4 その他火花点火機関(1,000cc以上)	298	4 魚の調製用機械	387
目	5 バス、トラック用ゴムタイヤ	552	5 バス、トラック用ゴムタイヤ	401	5 魚、その他のもの	347	5 魚の調製用機械	199	5 乗用車(2000~3000cc)の中古車	277	5 いわし	350	
輸 入 品 道 目	全 国	2,307,593	100%	2,618,538	100%	1,904,711	100%	1,227,314	100%	1,550,709	100%	1,722,684	100%
	北海道	90,533	3.92%	110,883	4.23%	128,614	6.75%	96,098	7.83%	123,587	7.97%	126,616	7.35%
	主	1 液化天然ガス	11,494	1 液化天然ガス	26,031	1 石油及び瀝青油(揮発油、その他のもの)	44,913	1 石油(揮発油、その他のもの)	27,067	1 石油(揮発油、その他のもの)	29,799	1 液化天然ガス	22,715
	北	2 瀝青炭(その他のもの)	10,112	2 石油及び瀝青油(揮発油、その他のもの)	24,027	2 液化天然ガス	20,562	2 液化天然ガス	17,115	2 液化天然ガス	20,721	2 石油及び瀝青油(揮発油、航空機用等その他)	20,481
	海	3 重油	8,047	3 瀝青炭(その他のもの)	9,564	3 瀝青炭(その他のもの)	9,432	3 瀝青炭(その他のもの)	8,543	3 瀝青炭(その他のもの)	9,413	3 魚肝臓、卵及びしらこ(にしん、たら以外)(冷凍)	14,093
	道	4 たらばがに(冷凍したもの)	7,921	4 うに(生きているもの)	5,696	4 べにぎけ(冷凍したもの)	6,426	4 うに(生きているもの)	6,597	4 うに(生きているもの)	7,082	4 瀝青炭(コークス除くその他)	14,093
目	5 べにぎけ(冷凍したもの)	5,971	5 ずわいがに(冷凍したもの)	4,989	5 うに(生きているもの)	5,987	5 コールドウォーターシュリンプ及びコールドウォーターブロン(その他のもの)	4,379	5 コールドウォーターシュリンプ及びコールドウォーターブロン(その他のもの)	5,776	5 重油	10,883	
合	全 国	3,376,938	100%	3,590,388	100%	2,522,370	100%	1,781,975	100%	2,224,431	100%	2,528,156	100%
計	北海道	103,805	3.07%	122,797	3.42%	122,797	4.87%	100,716	5.65%	129,274	5.81%	134,366	5.31%

※ 財務省貿易統計、北海道貿易統計より



北海道のロシア連邦からの輸入額の推移

(百万円)

	かに	魚卵等	うに	さけ	木材 合板等	石炭	天然ガス	石油類	その他	合計	水産物
H16(2004)	34,310	2,753	5,665	8,131	6,810	8,940	-	-	16,624	83,232	61%
17(2005)	33,889	2,817	6,083	7,443	5,104	8,864	-	-	26,451	90,651	67%
18(2006)	33,786	3,099	6,921	7,953	4,726	5,214	-	-	20,305	82,004	61%
19(2007)	30,584	5,225	6,924	7,457	4,905	12,517	-	-	20,077	87,689	63%
20(2008)	30,423	8,307	6,605	6,927	2,769	18,956	-	-	14,236	88,223	64%
21(2009)	19,549	6,811	5,423	426	1,296	9,724	-	-	11,005	54,234	45%
22(2010)	17,399	4,924	5,432	1,144	821	12,216	-	-	27,948	69,884	53%
23(2011)	23,307	7,538	5,127	1,230	1,608	14,327	-	-	22,252	75,389	56%
24(2012)	25,291	11,698	5,118	630	1,272	14,782	-	-	21,254	80,045	43%
25(2013)	21,289	7,244	5,540	7,505	1,662	15,354	11,494	8,047	25,670	103,805	43%
26(2014)	16,002	5,251	5,697	4,603	1,294	16,275	26,031	24,027	11,565	110,745	34%
27(2015)	6,241	6,371	5,988	8,619	1,101	14,585	20,562	44,913	20,234	128,614	26%
28(2016)	7,198	6,981	6,698	3,209	1,308	12,478	17,115	27,067	14,044	96,098	32%
29(2017)	7,003	8,534	7,396	4,735	1,351	18,307	20,721	33,464	22,076	123,587	30%
30(2018)	6,593	16,814	7,449	3,798	1,230	20,940	22,715	22,352	24,725	126,616	33%

※財務省貿易統計より

## ⑤ エネルギー関連

### (1) サハリンプロジェクト

#### (1)-1 サハリンプロジェクト(サハリン1、2)

	サハリン1プロジェクト	サハリン2プロジェクト
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクソンネフテガス (米、エクソンモービル子会社、オペレーター、30%)</li> <li>・サハリン石油ガス開発(株)(通称:SODECO) (日、JOGMEC・JAPEX・伊藤忠・丸紅等出資 30%)</li> <li>・ONGC ヴィデッシュ(インド、20%)</li> <li>・サハリンモルネフテガス・シェルフ(露、11.5%)</li> <li>・ロスネフチ(露、8.5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サハリンエナジー &lt;出資企業&gt;</li> <li>・ガスプロム(露、50%+1株)</li> <li>・ロイヤル・ダッチ・シェル(英・蘭 27.5%-1株)</li> <li>・三井物産(日、12.5%)</li> <li>・三菱商事(日、10%)</li> </ul>
投資額	約170億ドル	約200億ドル
開発鉱区	オドプト、チャイヴォ、アルクトン・ダギ	ピルトン・アストフスコエ、ルンスコエ
推定可採埋蔵量	①石油 約3.25億トン ②天然ガス 約4850億立方メートル	①石油 約1.5億トン ②天然ガス 約5,000億立方メートル
事業概要	<石油> サハリン島を東西に横断し大陸側(ハバロフスク地方デカストリ)に至るパイプラインを敷設、デカストリ港に出荷施設を建設 ・2005年 ロシア国内向け生産開始 (日量5万バレル) ・2006年10月 輸出開始 (当初計画日量25万バレル→現在日量14万バレル) <ガス> ・2005年 ロシア国内向け供給開始 ・中国など外国への輸出については交渉中	掘削地よりサハリン島を縦断しプリゴロドノエ(サハリン南部)に至る石油・ガスパイプラインの敷設、プリゴロドノエにおける港湾及びLNG(液化天然ガス)プラント建設 <石油> ・1999年「モリクパック」プラットフォームから限定生産を開始(夏季のみ) ・2008年12月13日 通年出荷開始(日量15万バレル) <ガス> ・2009年3月29日 LNG出荷開始 (年産960万トン)
経緯	956 生産物分与契約締結 966 生産物分与契約発効 996 天然ガスパイプライン事業化調査開始 01.10 商業化宣言発表 05.10 ロシア国内向け原油・天然ガス生産開始 06.10 デカストリ港原油輸出ターミナル完成、海外向け輸出開始 06.10 CNPC(中国)と天然ガス供給契約に向け覚書締結 09.5 12年以降に本格生産する予定の天然ガスの20%をガスプロム(ロシア国内供給)に売却することを基本合意 102 ハバロフスク地方向けガス供給量が50億m <sup>3</sup> 達成 103 ロスネフチ社がサハリン1鉱区隣接の「アストラハノフスコエ海～ネクラノフスキー」区画の開発権取得(推定埋蔵量石油:1,930万トン、ガス:440m <sup>3</sup> ) 112 オドプト鉱区において世界最長の傾斜ボーリングに成功 119 ウラジオストクまでの極東パイプライン 完成、当面はロシア国内向けガスを供給 134 サハリン島内に新LNG基地計画(ロスネフチ社) 149 チャイヴォ鉱区北端での生産活動開始(ピーク時生産量年間150万トン) 151 アルクトン・ダギ鉱区の採掘開始(ピーク時生産量年間450万トン) 15.12 チャイヴォ鉱区北部で200万トン目の石油を採掘 163 国際協力銀行等がSODECOとオドプト鉱区開発資金の融資契約締結(協調融資額9億ドル)	946 生産物分与契約締結 965 生産物分与契約発効 997 第1フェーズ石油生産開始(ファーストオイル) 03.5 第2フェーズ事業化宣言発表 04.1 原油・ガスパイプライン建設工事本格着工 04.10 シェル、LNG購入契約を締結 07.4 シェル、三菱、三井が株式の一部をガスプロムに譲渡 08.6 国際協力銀行等が約53億ドルを事業融資 08.11 原油・ガスパイプライン建設工事完成 08.12 原油の通年出荷開始 09.2 LNGプラント完成 09.3 LNG出荷開始(日本、韓国、台湾、クウェートへ供給) 09.10 国際商業銀行コンソーシアムが14億ドルを事業融資 11.3 LNG第3トレーン建設を検討中(年間500万トン増産) 14.3 LNG第3トレーン建設を優先実施するとの報道 15.9 ガスプロムが極東ウラジオストクLNG基地建設計画を凍結し、サハリン2拡張優先を発表。 15.12 ロシア最高裁がロスネフチ社の訴えを支持し、サハリン2の天然ガスパイプライン余剰分の共有をロスネフチ側に認める。 15.12 三井、三菱などがサハリン2拡張計画(第3トレーン建設)の着手に合意(生産設備の基本設計は千代田化工が請負)との報道。 17.03 当初2022年始動予定であった第3トレーンでのLNG生産は2023～24年に延期。 17.9 サハリン2陸上処理施設(OPF)にフロントエンド圧縮ステーションが増設されることが決定。2021年完工予定。

(1)ー2 サハリンプロジェクト(サハリン3)

鉱区	キリンスキー鉱区			アヤシ鉱区、(東オドプト鉱区)		ヴェーニン鉱区
事業主体	ガスプロム社			ガスプロムネフチ社 (親会社ガスプロム社より移管)		ヴェニネフチ社 <出資企業> ロスネフチ(露)74.9% シノペック(中)25.1%
経緯	1993 開発権をエクソン(現エクソンモービル)が落札 1999 生産物分与協定対象鉱区に認定 2004 ロシア政府が生産物分与協定対象鉱区から外し、入札が無効に 2008 ガスプロムが開発権取得 2009 2本の坑井を掘削 2010 地質調査・探索			1993 開発権をモービルが落札 2004 ライセンス発行見送り 2009 ガスプロムが開発権取得 2017 ネブチューン油田発見 2018 トリトン油田発見		2003 ロスネフチ、地質調査権を取得 2005 ヴェニネフチ設立 2005 地震探査調査 2006 試掘探査調査 2009 掘削工事 2011 地質調査
主要ガス田	キリンスキーガス田	南キリンスキーガス田	ミンギンスキーガス田	ネブチューン油田	トリトン油田	-
推定可採埋蔵量	天然ガス:1,625 億m <sup>3</sup> コンデンセート:1,910 万t	天然ガス:8,635 億m <sup>3</sup> コンデンセート:1 億 1,060 万t	天然ガス:198 億m <sup>3</sup> コンデンセート:250 万t	原油:4 億 1,580 万t	石油換算: 1 億 3,700 万t	天然ガス:340 億m <sup>3</sup> コンデンセート:280 万t
最近の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013.10 生産開始</li> <li>・ピーク時生産量 55 億 m<sup>3</sup>/年(2018 年)</li> <li>・サハリン、ハバロフスク地方、沿海地方に供給</li> <li>・ウラジオストク LNG 工場、既存 LNG 工場第3トレーンのガス源となる可能性も</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017 年に探査終了予定</li> <li>・2019 年の生産開始目指す</li> <li>生産量目標 114 億 m<sup>3</sup>/年(2020 年)</li> <li>・ウラジオストク LNG 工場のガス源として想定</li> <li>・大量の原油資源発見、油田開発優先実施も</li> <li>・2015.8 米が当鉱区を経済制裁対象に加える旨発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011 年発見</li> <li>・今後評価用井戸掘削予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017 年日本海洋掘削株式会社「Hakuryu5」が掘削開始</li> <li>・アジア企業などとパートナーシップ協議</li> <li>・2019~2021 年に両鉱区各3坑掘削予定</li> <li>・ネブチューンは2025~27年生産開始予定</li> <li>・東オドプト鉱区はアヤシ鉱区に隣接</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地質調査完了</li> <li>・2012.7 査定のための掘削開始</li> <li>・2014.6 法令により北ヴェーニン鉱区採掘権取得</li> </ul>	

※サハリン3全体のガス埋蔵量は1兆1,000億m<sup>3</sup>(サハリン1、2の埋蔵量の2倍以上)と推定

※南キリンスキー、ミンギンスキー両ガス田の埋蔵量は、「未探鉱だが商業化可能、または商業化が期待できる」埋蔵量を含む。

※2016年、キリンスキー鉱区内の南ルンスカヤ構造で新たな鉱床発見。南キリンスキー鉱床と比べると開発難易度は低く、制裁対象でないため、サハリン2のLNG工場向け原料の供給源に好都合

※コンデンセート=天然ガス抽出時に生じる原油

※ガスプロム社では、ポロナイスクに年間10万t規模のLNG設備の建設しガス供給を計画。

※(1)ー1、(1)ー2は新聞報道などをもとに作成。

○2013年6月、ガスプロム社と極東ロシアガス事業調査(株)(伊藤忠、JAPEX、丸紅、INPEX、伊藤忠石油開発)が LNG 事業覚書締結

## (2) サハリン1, 2に関する日本企業の主な動向

(新聞報道、各社プレスリリース等をもとに作成)  
 ※図は「SAKHALIN ENERGY INVESTMENT COMPANY  
 環境、社会並びに健康に対する影響評価の概要」より

### サハリン1への出資

- JOGMEC、伊藤忠、丸紅等  
 事業主体であるサハリン石油ガス開発に  
 対し出資

### サハリン2への出資

- 三井物産、三菱商事  
 事業主体であるサハリンエナジーに対し  
 出資



### サハリン1 パイプライン敷設

- 新日鐵  
 原油パイプライン工事 (サハリン1 鉱区  
 ~デカストリ港) 受注

### サハリン2 パイプライン敷設

- メタルワン (三菱商事、日商岩井)  
 天然ガス用鋼管 受注
- 三井物産  
 原油用鋼管 受注
- 日立建機、コマツ  
 建設用機械 受注

### サハリン2 (プリゴロドノエ) LNG・原油関連施設

- 千代田化工建設、東洋エンジニアリング  
 露企業と共同でLNGプラント建設工事  
 受注
- 日鐵セメント  
 LNGプラント用セメント 受注
- ワッコール (日露合弁)  
 基礎工事に参入
- 新日鐵  
 原油積出海上施設工事 受注
- 横河電機  
 計装設備一式 受注
- 東亜建設工業  
 LNG船接岸設備 受注

### サハリン西部港 (旧ホルムスク漁港)

- 五洋建設  
 浚渫工事 受注
- 西村組 (湧別町) 等  
 下請に参入

### サハリン2 LNGの購入契約

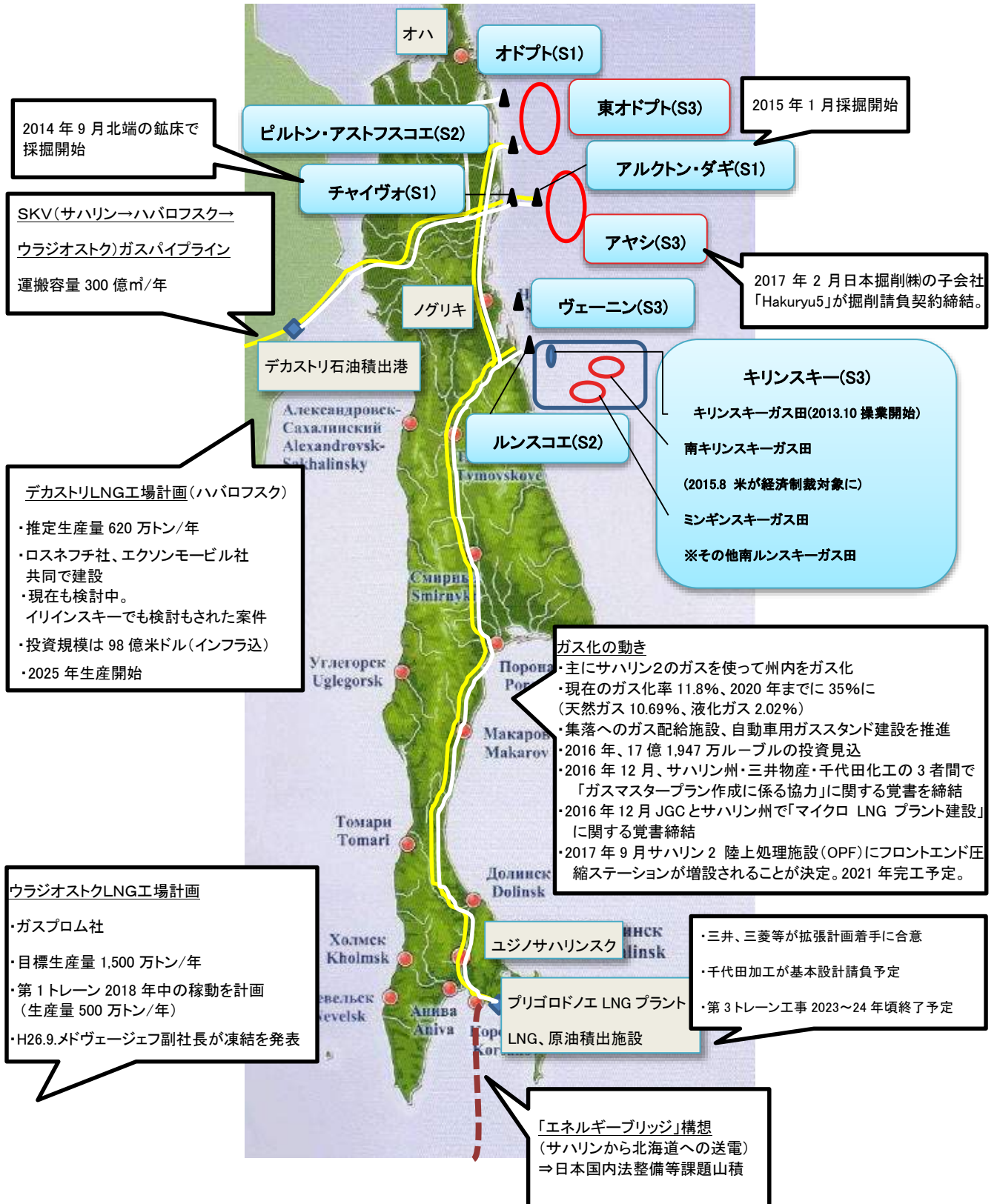
- 東京電力、九州電力、東北電力、  
 中部電力
- 東京ガス、東邦ガス、広島ガス、  
 西部ガス、大阪ガス  
 ※北海道ガスは東京ガスから買い取り



(3) エネルギー関連の動き (各社新聞報道等より作成)

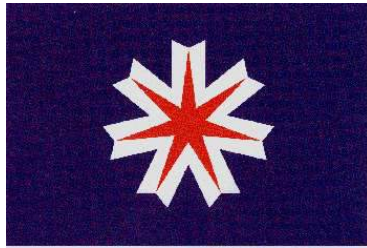
※油ガス田名の後のカッコ内はプロジェクト名を表す(例:S1→サハリン 1 プロジェクト)

※地図は写真集”Morning Islands”(サハリン州政府主体の編集委員会 編・発行)より



## Ⅲ. 北海道とサハリン州

### ① 北海道とサハリン州の交流



#### (1) 極東3地域(サハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方)との交流に関する取組

1992年 『北海道とロシア連邦極東地域との経済協力プログラム(第1期)』策定

1997年 『北海道とロシア連邦極東地域との経済協力プログラム(第2期)』策定

※北海道サハリン事務所開設【2001年1月】、定期フェリー・航空便の開設検討等が第2期までの成果。

2002年 『北海道とロシア連邦極東地域との経済協力発展プログラム(第3期)』策定

※経済交流推進上の障害の除去等「ビジネス環境の整備」と定期航路の維持・発展や各産業における交流の促進を図る「人的・物的ネットワークの強化」を進めることにした。

2008年 『北海道とロシア連邦極東地域との経済協力発展プログラム(第4期)』策定

※「ビジネス環境の整備」における情報交換の具体的内容の明示や企業間交流の強調、「人的・物的ネットワークの強化」における環境保全に関する情報交換等を加えた。

2013年 『北海道とロシア連邦極東地域との経済協力発展プログラム(第5期)』策定

※農業や自然環境、エネルギー、医療などの社会的課題の解決とビジネスチャンスの拡大を結びつける「貢献と参入」(具体例をIVに記載)の考えのもと、「快適な住民生活環境の形成(コラボレーション)」を新たに柱に加えた。

2017年 安倍首相の「8つの協力プラン」と高橋知事の「5つの協力パッケージ」を基に、「貢献と参入」を発展拡大させた新たな枠組み「北海道・ロシア地域間協力チーム」を発足。

2018年 『北海道とロシア連邦極東地域との地域間協力発展プログラム(第6期)』策定

→「経済協力発展」から「地域間協力発展」にプログラム名称を変更

※経済交流には「直行航空路線の開設」を加え更なる拡大を図るとともに、新たに友好分野を加えた人的交流の拡大の視点も加え、日露の地域間交流の促進を図ろうとするもの。

(プログラムの詳細：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/program6.japanese.pdf>)

#### 【プログラムの柱】

1. 地域間の経済協力発展の促進
2. 地域間の人的協力発展の促進
3. 交通・物流ネットワークインフラ発展の促進
4. 経済交流・投資協力の発展促進

#### 経済協力発展プログラムに基づく定例会議等の取組

- ・定例会議：1992年～2018年で22回開催(札幌、ユジノ、モスクワ、ウラジオ)
- ・分野別部会：2003年～2015年で12回開催(札幌、ユジノ)

(2)サハリン州との交流に関する取組

1998年 『北海道とサハリン州との友好・経済協力に関する提携』

2000年 『北海道・サハリン州友好・経済協力提携に基づく経済交流促進プラン』 合意

2008年 『北海道とサハリン州との友好・経済交流促進プラン（第2期）』 策定

2013年 『北海道とサハリン州との友好・経済交流促進プラン（第3期）』 策定

2019年 『北海道とサハリン州との友好・経済交流促進プラン（第4期）』 策定

※極東3地域と締結した「地域間協力発展プログラム」に沿い「食の安全・安心と健康・長寿」、「寒冷地の快適な生活の確保」、「自然環境の保全」、「エネルギーの地産地消」に、観光交流や、教育、学術、文化、スポーツ等の交流により、人的交流を拡大していく視点も加え、サハリン州との地域間交流の深化を図ろうとするもの。

② 北海道・サハリン州友好・経済協力提携20周年記念事業一覧(2018年)

	事業名	実施場所	主催者
1	第19回日本語スピーチコンテスト	ユジノ サハリンスク	サハリン州、サハリン国立総合大学 北海道
2	北海道サハリン州地域間学生交流	札幌市、旭川市	日露青年交流センター、 NPO 法人北海道日本ロシア協会
3	加藤登紀子コンサート in サハリン & ウラジオストク 2018	ユジノ サハリンスク等	加藤登紀子コンサート in サハリン & ウラジオストク 2018 実行委員会
4	加藤登紀子氏応援東川町 PR 事業	ユジノ サハリンスク	東川町、JA ひがしかわ
5	札幌座第55回公演 「フレップの花、咲く頃に」	札幌市	公益財団法人北海道演劇財団
6	ロシア連邦極東地域代表団の 北海道訪問	札幌市	北海道
7	第20回青少年サハリン・北海道 「体験・友情」の翼	道内各市町	北海道・極東交流事業実行委員会
8	第4回高校生国際交流 写真フェスティバル	東川町	高校生国際交流写真フェスティバル 実行委員会
9	北海道命名150年式典招へい	札幌市	北海道
10	第20回北海道柔道連盟ジュニア ・ロシア(指導者)親善交流	札幌市	(一社)北海道柔道連盟 (公社)北海道柔道整復師会
11	第52回平和の翼	サハリン州各地	NPO 法人北海道日本ロシア協会
12	北海道・日露友好・経済交流 サハリン訪問	ユジノ サハリンスク	サハリン州、北海道
13	第1回サハリン北海道フェア	ユジノ サハリンスク	北海道
14	日露文化・芸術フェスティバル in サハリン	ユジノ サハリンスク	在ユジノサハリンス日本国領事館、 サハリン州、北海道

次ページへ続く

15	第20回北海道柔道連盟ジュニア ・ロシア(指導者)親善交流	ユジノ サハリンスク	(一社)北海道柔道連盟 (公社)北海道柔道整復師会
16	サハリン州立人形劇場北海道公演	旭川市、中川町 札幌市	有)劇団風の子北海道 サハリン州立人形劇場
17	ユジノサハリンスク 室内オーケストラ 札幌公演	札幌市	システィーナ札幌室内合奏団
18	サハリン州代表団の北海道訪問	札幌市	サハリン州、北海道
19	サハリン州プレゼンテーション 「サハリン州と北海道:協力の展望」	札幌市	サハリン州、北海道
20	日露文化・芸術フェスティバル in 北海道	札幌市	サハリン州、北海道
21	女性の活躍促進ラウンドテーブル	札幌市	北海道
22	第13回北海道・サハリン市民交流会議	札幌市	北海道・極東交流事業実行委員会
23	北海道・サハリン州スポーツ交流 (指導者等)	札幌市	北海道
24	第50回全道ロシア語弁論大会	札幌市	サハリン州、北海道、 日本ユーラシア協会北海道連合会
25	北海道・サハリン州スポーツ交流 (ウェイトリフティング)	士別市、札幌市	士別市、北海道
26	第2回サハリン北海道フェア	ユジノ サハリンスク	北海道
27	知事のサハリン州訪問	ユジノ サハリンスク	サハリン州、北海道
28	第1回冬季国際スポーツ競技大会 「アジアの子供たち」選手団派遣	ユジノ サハリンスク	国際スポーツ競技大会「アジアの子供 たち」組織委員会など



### ③ 「北海道とサハリン州の友好交流」

#### (1) 道・道内市町村との姉妹友好提携

道 内	サハリン州内	締結年
北海道 (526 万人)	サハリン州 (49.0 万人)	1998 年
稚内市 (3.4 万人)	ネベリスク (1.5 万人)	1972 年
	コルサコフ (4.1 万人)	1991 年
	ユジノサハリンスク (20.8 万人)	2001 年
旭川市 (33.6 万人)	ユジノサハリンスク (20.8 万人)	1967 年
北見市 (11.7 万人)	ポロナイスク (2.2 万人)	1972 年
釧路市 (16.9 万人)	ホルムスク (3.7 万人)	1975 年
猿払村 (2,624 人)	オジョルスキー (1,300 人 *2013 年時点)	1990 年
紋別市 (2.2 万人)	コルサコフ (4.1 万人)	1991 年
名寄市 (2.8 万人)	ドリンスク (2.4 万人)	1991 年
天塩町 (3,068 人)	トマリ (7,859 人)	1992 年
根室市 (2.6 万人)	セベロクリリスク (2,485 人)	1994 年
函館市 (25.8 万人)	ユジノサハリンスク (20.8 万人)	1997 年
{小樽港}	{ホルムスク港}	1991 年

※道内各市町村の人口は北海道 HP の住基ネットにおける人口（平成 30 年 12 月 31 日時点）参照。  
 サハリン州自治体の人口はサハリン州国家統計委員会資料に基づき作成（2019 年 1 月 1 日時点）  
 いずれも端数処理。

※サハリン州都市部のみ、位置図を P.6 に掲載

## (2) 民間・友好交流団体の主な友好交流

団体名	主な取組
NPO 法人 北海道日本ロシア協会	1972年に「日ソ親善協会」として設立以来、カウンターパートナーである「サハリン日本協会」と連携し、「平和の船」による相互訪問等、多くの事業を実施。
「北海道・ロシア極東 交流事業実行委員会」 (事務局：NPO 法人北海 道日本ロシア協会)	毎年相互に『北海道・サハリン州「体験・友情」の船』や、各界・各層の人々が参加し、多面的な相互交流を行うことが目的の「北海道・サハリン州市民交流会議」を実施（2018年までに13回実施）。 2009年開催の市民交流会議で「YOSAKOI」文化交流の実現を提案したことから、ロシアで初めて「YOSAKOI ソーラン祭り」にサハリン州の大学生を中心としたチームの参加が実現。
日本ユーラシア協会 北海道連合会	1958年設立以来、「全道ロシア語弁論大会」の実施（2018年で50回目）、ロシア語講座の開設、ロシア料理講習会の実施など、ロシア文化・言語普及啓発を全道各地で推進。
(公財)北海道演劇財団	2010年にサハリン州文化庁、サハリン州立文化団体「A. P. チェーホフ記念サハリン国際舞台芸術センター」との間で相互公演を内容とする協定書を締結。同年9月には付属劇団TPS（現・札幌座）の公演がユジノ市で開催、以降相互に公演を行う。
北海道柔道連盟、 北海道柔道整復師会	2001年、北海道柔道連盟とサハリン州政府スポーツ局（現在のスポーツ委員会）、サハリン州柔道・サンボ協会との間で3者協定を締結。2005年に北海道整復師会を加え、4者間協定による交流団の派遣・受入実施。大会開催のほか、柔道を通じた交流を行う。
北海道博物館 (北海道開拓記念館)	1990年度に、サハリン州郷土博物館との学术交流・共同研究を開始。以来、5カ年を単位として様々な分野の学芸員が共同研究を実施。直近では2016年2月に今後5年間の覚書を締結。
(有)劇団風の子北海道	サハリン州立人形劇場と1990年から文化交流を継続、北海道とサハリン州で相互公演を行う。
(財)北海道北方博物館 交流協会	2006年、北海道大学から無償提供された大型古代哺乳生物「デスマスチルス」のレプリカを修復・組立し、サ州郷土博物館に無償提供。2017年5月に協会設立30周年記念として、サ州郷土博物館からミロマーノフ館長を札幌に招き講演会「チェーホフとサハリン」を開催。
稚内国際文化交流 協議会	友好姉妹都市であるユジノ市、ネベリスク市、コルサコフ市との間で様々な分野の交流イベントを実施。2000年よりサハリンのアンサンブルグループを招き公演を行っており、2019年2月に「ルースキーテーレム」が公演を実施。
学校法人北斗文化学園	2016年11月サハリン州のサハリンカレッジオブサービス専門学校と学术交流協定の覚書締結。2017年9月、学生の相互派遣交流事業を実施。
北海道立文学館	2017年5月サハリン州のチェーホフ記念文学館と文学交流に関する協定を締結。2017年9～11月、特別展「アントン・チェーホフの遺産」を開催。同特別展の一環で、サハリン州から関係者を招いてトークセッションを開催。
学校法人立命館	2014年9月立命館慶祥中学校・高等学校がサハリン州教育省と教育分野の協力に関する協定締結、2016年より立命館慶祥高校の教員・生徒が来サし、ユジノ市にて地域調査・研修イベントを実施している。
その他（教育交流）	北海道大学、小樽商科大学、釧路公立大学、苫小牧駒沢大学、北海学園大学、北海商科大学、北海道文教大学、稚内北星学園大学、道都大学がサハリン国立大学をはじめとするサハリンの大学と交流協定締結。

## IV. 北海道サハリン事務所の概要



北海道サハリン事務所はサハリン州政府機関との信頼関係を強化、正確・迅速な情報収集を行い、交流をより活発にさせるための拠点として、2001年1月1日、ユジノサハリンスク市に設置した。

2015年11月9日に北海道センタービル内に入居。また、道内企業等の現地滞在中の活動拠点として、事務所に隣接してオフィススペースを設けている。

### 1 体制

- ① 職員:3名(所長1名、主査2名(うち1名は北洋銀行派遣))
- ② ロシア人スタッフ:4名(通訳2名、経理1名、運転手1名)

### 2 業務内容

- ① 情報収集等:現地情報の収集・提供、北海道情報の発信
- ② 州政府等との調整:サハリン州政府等との連絡・調整
- ③ 友好交流:友好交流に係る調整及び支援
- ④ 経済交流:経済交流に係る調査及び支援

### 3 連絡先

ロシア連邦ユジノサハリンスク市コムニスチチェスキ通り 18  
「北海道センター」1階 11号室

電話:+7-4242-45-75-60

FAX:+7-4242-45-75-63

E-Mail:hokkaido@snc.ru

